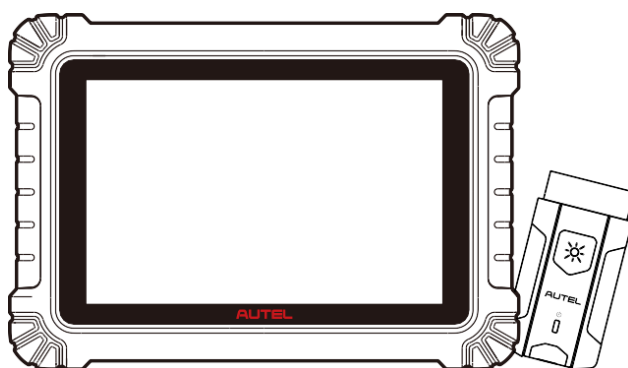


MaxiSys MS906 MAX



商標

Autel®, MaxiSys®, MaxiDAS®, MaxiScan®, MaxiTPMS®, MaxiRecorder®, MaxiCheck®は、Autel Intelligent Technology Corp., Ltd. の商標であり、米国、中国、およびその他の国で登録されています。その他のすべてのマークは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

□□情報

Autelの□□による□□の□□がない□り、このマニュアルのいかなる□□も、□□□、□□□、コピー□、□□などの□□や□□を□わす、□□したり、□□システムに□□したり、□□したりすることはできません。

□□□□の□□□□の負債

このマニュアルに□□されているすべての□□、□□、および□は、□□□□で□□□□な□□□□に□づいています。

Autelは、□□なしにいつでも□□する□□を□□します。このマニュアルの□□は□□□□について□□にチェックされていますが、□□の□□、□□、イラストなど、□□の□□□□および□□□□については□□□□されません。

Autelは、□□□の□□に□□する□□□、□□、□□□、□□□な□□、または□□□□□□□□ (□□の□□を□□む) については□□□□を□□いません。

重要

この□□を□□または□□する□に、このマニュアルをよく□□み、□□□の□□と□□□□に□に□□してください。

サービスとサポートについて



pro.autel.com

www.autel.com



1-855-288-3587 (☐☐)



+86 (0755) 8614-7779 (□□)

support@autel.com

その他のすべての市場での技術サポートについては、このマニュアルの「テクニカルサポート」を参照してください。

□□情報

ご□□と□の□の□□のため、また、デバイスやデバイスが□□される□□の□□を□ぐために、このマニュアル□□に□□されている□□に□する□□を、デバイスを□□または□□するすべての□が□んで□□することが□□です。

□□の□□には、□□くの□□、□□、ツール、□□、および□□□のスキルが□□です。この□□でテストできる□□のテスト□□やバリエーションが□□であるため、あらゆる□□を□□したり、あらゆる□□に□□するアドバイスや□□メッセージを□□したりすることは□□□□です。テスト□□のシステムに□□することは□□□□□□の□□です。□□なサロビス□□とテスト□□を□□することが□□です。□□の□□、□□エリアにいる□の□の□□、□□しているデバイス、またはテスト□□の□□を□□にさらさない、□□で□□できる□□でテストを□□することが□□□□です。

デバイスを□□する□に、テスト□□の□□または□□の□□□□が□□する□□メッセージと□□するテスト□□を□ず□□し、それに□ってください。デバイスは、このマニュアルに□□されているとおりにのみ□□してください。このマニュアルのすべての□□メッセージと□□を□ず□み、□□し、それに□ってください。

□□に□するメッセージ

□□メッセージは、□□□□や□□の□□を□ぐために□□されています。すべての□□メッセージは、□□レベルを□すシグナルワ□ドで□まります。

危険

□□しなければ、オペレ□タまたは□□の□が□□または□□を□う□し□った□□な□□を□します。

警告

□□しないと、オペレ□タまたは□□の□が□□または□□を□う□□□□がある□□□□に□□な□□を□します。

□□に□する注意事項

ここに□□されている□□に□するメッセージは、Autel が□□している□□をカバ□しています。 Autelは、□こり□るすべての□□について□り、□□し、アドバイスすることはできません。いかなる□□やサ□ビス□□が□□しても、□□の□□が□□にさらされないことを□□する□□があります。

危険

エンジンが□□しているときは、サロピスエリアの□□をよくするか、エンジンの□□システムに□□の□□□□システムを□り□けてください。エンジンは□□□□□を□□します。□□□□□は□□の□□ガスであり、□□□□が□くなり、□□な□□□□や□□の□□につながる□□□□があります。

 ヘッドフォンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。耳を過度に刺激する大音量で長時間聞くと、難聴を引き起こす可能性があります。

安全上の警告

- 自動車のテストは常に安全な環境で行ってください。
- ANSI 規格を満たす安全な目の保護具を着用してください。
- 衣服、髪、手、工具、試験装置などをすべての可動部品や高温のエンジン部品から遠ざけてください。
- 排気ガスは有毒であるため、車両は換気の良い作業場で操作してください。
- トランスミッションをパーキング（オートマチックトランスミッションの場合）またはニュートラル（マニュアルトランスミッションの場合）にして、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。
- 駆動輪の前にブロックを置き、テスト中は絶対に車両から目を離さないでください。
- 点火コイル、ディストリビュータキャップ、点火ワイヤ、点火プラグの周囲を作業するときは特に注意してください。これらのコンポーネントは、エンジンの動作中に危険な電圧を生成します。
- ガソリン火災、化学火災、電気火災に適した消火器を近くに置いてください。
- イグニッションがオンになっているとき、またはエンジンが作動しているときは、テスト機器を接続したり取り外したりしないでください。
- 試験装置は乾燥した清潔な状態に保ち、油、水、グリースが付かないようにしてください。必要に応じて、清潔な布に中性洗剤を付けて装置の外側を拭きます。
- 車両の運転と試験装置の操作を同時に行わないでください。注意力散漫になると事故が発生する可能性があります。
- 整備される車両のサービスマニュアルを参照し、すべての診断手順と注意事項に従ってください。そうしないと人身傷害や試験装置の損傷につながる可能性があります。
- テスト機器の損傷や誤ったデータの生成を避けるために、車両のバッテリーが完全に充電されており、車両の DLC への接続が清潔で安全であることを確認してください。
- 試験装置を車両のディストリビュータの上に置かないでください。強い電磁干渉により機器が損傷する可能性があります。

コンテンツ

1	このマニュアルの使い方.....	1
1.1	□□.....	1
1.1.1	□□□テキスト.....	1
1.1.2	□□ そして □□ メッセージ.....	1
1.1.3	ハイパーリンク.....	1
1.1.4	イラスト.....	1
1.1.5	手順.....	2
2	概要.....	3
2.1	MS906MAXタブレット.....	3
2.1.1	□□説明.....	3
2.1.2	□□.....	5
2.1.3	技術仕様.....	6
2.2	VCI V200 — コミュニケーションインターフェース.....	7
2.2.1	□□説明.....	7
2.2.2	□□仕様.....	8
2.3	その他クセサリ —.....	9
3	はじめに.....	11
3.1	□□を□れる.....	1 1
3.1.1	アプリケーションボタン.....	1 2

3.1.2	ロケ□タとナビゲ□ションボタン	1 4
3.1.3	システムステ□タスアイコン	1 5
3.2	電源セ □	1 5
3.2.1	□□□システム	1 6
4	診断	1 7
4.1	□□□□の□□	1 7
4.2	はじめに	1 9
4.2.1	□□メニュー□レイアウト	2 0
4.3	□□□□	2 2
4.4	ナビゲ□ション	2 6
4.4.1	□□□□レイアウト	2 6
4.4.2	□□メッセージ	2 9
4.5	□□メニュー	2 9
4.6	□□機能	3 0
4.6.1	ECU情報	3 4
4.6.2	トラブルコード	3 4
4.6.3	ライブデータ	3 6
4.6.4	アクティブテスト	4 3
4.6.5	□□□□機能	4 3
4.7	コーディング	4 4
4.8	EOBDIIオペレーション	4 4

4.8.1	□□□な手順.....	4 5
4.8.2	□□説明.....	4 6
4.9	□□レポート.....	4 8
4.9.1	プレスキャン&ポストスキャン機能.....	4 8
4.9.2	□□レポートの□□、□□、□□.....	4 9
4.10	診断の終了.....	5 2
5	サービス	5 4
5.1	オイルリセットサービス.....	5 4
5.2	□□パロキングブレロキ(EPB)サービス.....	5 5
5.2.1	EPBの安全性.....	5 5
5.3	タイヤ□□□□システム (TPMS) サービス	5 5
5.4	バッテリー□ □□システム (BMS) サービス	5 6
5.5	ディロゼル □□フィルタ□ (DPF) サービス	5 6
5.6	イモビライザ□ (IMMO) サービス.....	5 7
5.7	ステアリングアングルセンサ□ (SAS) サービス.....	5 8
6	ADAS	5 9
7	データマネージャー	6 0
7.1	□□□□.....	6 1
7.1.1	□□テスト□□.....	6 2
7.2	ワロクショッブ□□.....	6 3
7.3	顧客管理.....	6 4

7.4	イメージ.....	65
7.5	クラウドレポート.....	67
7.6	PDF.....	67
7.7	デモタレビュー.....	67
7.8	デモタロギング.....	68
7.9	Apps.....	68
8	セッティング.....	69
8.1	単位.....	69
8.2	言語.....	69
8.3	設定.....	70
8.3.1	操作.....	70
8.4	レポート.....	71
8.5	プッシュ通知.....	72
8.6	オートアップデート.....	72
8.7	ADAS設定.....	73
8.8	カメラ.....	73
8.9	オートVID.....	73
8.10	システム設定.....	73
8.11	備考.....	74
9	VCIマネージャ.....	75
9.1	VCIブルートゥースペアリング.....	76

9.2	BASブルー투스ペアリング	76
9.3	VCIアップデート	77
9.4	BASアップデート	77
10	サポート	78
10.1	サポートQQレイアウト	78
10.2	My Account	78
10.2.1	Personal Info	79
10.2.2	アップデート情報	79
10.2.3	サービス情報	79
10.3	Training	79
10.4	デモタロギング	79
10.5	FAQ	80
11	アップデート	81
12	バッテリーテスト	82
12.1	MaxiBAS BT506 バッテリー テスタ ——	82
12.1.1	QQQQ	83
12.1.2	QQ	84
12.1.3	QQ仕様	84
12.2	テストQQ	85
12.2.1	バッテリーQQのQQ	85
12.2.2	バッテリーQテストQをQQする	85

12.3	□□テスト	86
12.3.1	バッテリー□テスト	88
12.3.2	スタ□タ□テスト	89
12.3.3	オルタネ□タ□テスト	90
12.4	□□テスト	91
12.4.1	テスト手順	92
12.4.2	テスト結果	93
13	ハンドヘルド傾斜計	94
14	リモ□トデスク	96
14.1	オペレーション	96
15	クイックリンク	98
16	User Feedback	99
17	MaxiViewer	100
18	デジタル検査	102
19	スコープ	103
20	Autelユ□ザ□センター	104
21	メンテナンスおよびサ□ビス	106
21.1	メンテナンス説明書	106
21.2	トラブルシュー□ティングチェックリスト	107
21.3	バッテリー□の□□について	107
21.4	サ□ビス手順	108
21.4.1	テクニカルサポート	108

21.4.2 □□サービス11 0

21.4.3 その□のサービス11 1

22 コンプライアンス情報11 2

23 保証11 4

1 このマニュアルの使い方

このマニュアルには、デバイスの□□□□が□□されています。

このマニュアルに□□されているイラストには、システムに□□されていないモジュールやオプションの□□が□□されている□□があります。

1.1 規約

□□の□□が使用されます:

1.1.1 □□□テキスト

太字のテキストは、ボタンやメニューオプションなどの**選択可能な項目**を強調表示するために使用されます。

例: 「OK」をタップします。

1.1.2 □□□□と□□なメッセージ

1.1.1.1 NOTE

「NOTE」は、□□の□□、ヒント、コメントなどの□□つ□□が□□されます。

1.1.1.2 重要

「□□」は、□□しないとタブレットまたは□□に□□が□□する□□□□がある□□を□□します。

1.1.3 ハイパーリンク

□□□□ではハイパ□□リンクが□□できます。□□の□□テキストは□□□□なハイパ□□リンクを□□し、□□の□□□□きテキストは Web サイト リンクまたは□□メ□□ル アドレスリンクを□□します。

1.1.4 イラスト

このマニュアルで□□されているイラストは□□です。□□のテスト□□は、テスト□□の□□ごとに□なる□□があります。メニュー□のタイトルと□□□の□□を□□□く□□して、□しい□□を□ってください。

1.1.5 手順

□□ アイコンは、□□を□します。

例：

➤ タブレットの□□を□するには

1. □□/ロックボタン を長押しします。
2. [□□を□る]をタップします。
3. 「OK」をタップします

2 □□

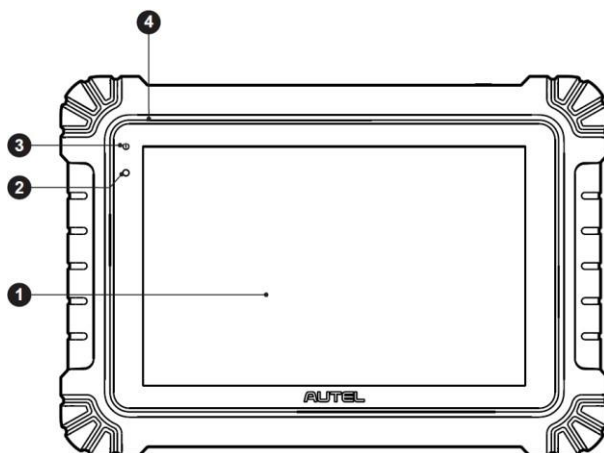
MaxiSysシステムには、2つの**主要**コンポーネントがあります。:

- MS906MAXタブレット — システムの□□プロセッサおよびモニター
- VCI V200 — □□デ□□にアクセスするためのコミュニケーションインターフェース

このマニュアルでは、これらのデバイスの□□と□□、およびそれらがどのように□□して□□ソリューションを□□するかについて□□します。

2.1 MS906MAXタブレット

2.1.1 □□説明



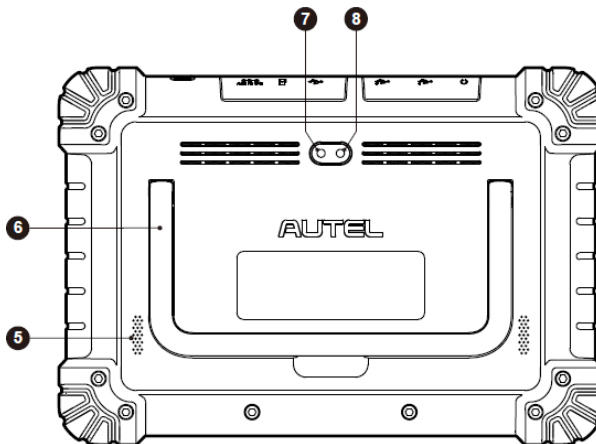
□ 2-1 MS906MAXタブレット フロント ビュー

1. 10.1インチ TFT□□ □□□□□□ タッチスクリーン
2. アンビエント ライト センサ□ — 周囲の明るさを□□します

3. □□LED — *□2-1 タブレット □□LED の □□ □□*
4. □□マイク

□ 2-1 タブレット電源LEDの説明

LED	色	説明
電源LED	緑色	- タブレットが□□□でバッテリー□□□が90%□□の□□は□□に□□ - タブレットの□□がオンで、バッテリー□□□が15%を□えると□□に□□
	黄色	タブレットが□□□で、バッテリー□□□が90%□□の□□は□□に□□
	赤色	タブレットの□□がオンで、バッテリー□□□が15%□□の□□は□□に□□



□ 2-2 MS906MAXタブレットリアビュー

5. スピーカー
6. □りたたみスタンド
7. リアカメラ
8. カメラのフラッシュ

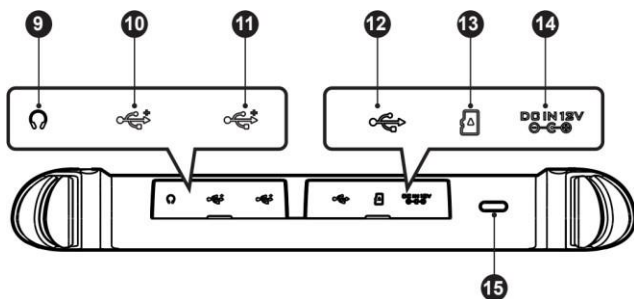


図 2-3 MS906MAX タブレット トップビュー

9. ヘッドフォンジャック
10. USB ポート
11. USB ポート
12. ミニ USB ポート
13. mini SD カードスロット
14. DC IN 1.5V ポート
15. 電源/ロック ボタン - 押下するとタブレットの電源のオン/オフになり、長押しすると画面がロックされます。

2.1.2 電源

タブレットは、以下のいずれかの電源にて動作します。

- 充電バッテリーパック
- AC/DC 電源アダプター
- 充電電源

重要

充電が 0 °C 以下または 45 °C を超えるときはバッテリーパックを充電しないでください。

2.1.2.1 充電バッテリーパック

タブレットは充電の充電バッテリーパックで充電を完了でき、充電に充電されている充電は、約 8 時間の

□□□□に□□な□□を□□できます。

2.1.2.2 AC/DC 電源アダプター

タブレットには、AC/DC 電源アダプタ□を□□し□□を□□できます。AC/DC □□は□□バッテリー□パックも□□します。

2.1.2.3 〇〇〇〇

タブレットは、〇〇ケ〇ブル〇〇を〇して、〇〇のシガ〇 ライタ〇またはその〇の〇〇な〇〇ポ
ロトから〇〇を〇〇できます。〇〇〇〇ケ〇ブルは、ディスプレイユニットの〇〇にある DC 〇
〇ポロトに〇〇します。

2.1.3 〇〇仕様

〇 2-2 タブレット仕様

アイテム	説明
OS	Andoroid 10
プロセッサ	オクタコア プロセッサ
メモリ	4 GB RAM & 128 GB オンボロドメモリ
ディスプレイ	10.1インチ 〇〇 〇〇〇〇〇〇 タッチスクリロン 1920×1200解像度
接続性	● Wi-Fi (802.11 (a/b/g/n/ac) ● BT 5.0 (BR/EDR + BLE) ● GPS ● USB 2.0 (USB タイプA×2、ミニ USB) ● SDカロド (サポロト256 GB)
カメラ (リア)	13 MP
センサー	● 〇〇 加速度計 ● アンピエント ライト センサロ (ALS)
オーディオ 〇〇 /出力	● マイクロフォン ● デュアルスピーカー ● 3バンド /4バンド 3.5 mm ヘッドセット ジャック

□□ & バッテリー	● 11600 mAh 3.85 V リチウムポリマ□バッテリー ● DC 12 V 電源による充電
□□電圧	12 V/3 A アダプター
□□温度	0 °C ~ 50 °C
□□温度	-10 °C ~ 60 °C
サイズ (□ x□□ x□さ)	311.1mm x 216.0mm x 39.9mm
重さ	1.71 kg
プロトコル	PLC J2497、ISO-15765、SAE-J1939、ISO-14229 UDS、S AE-J2411 シングルワイヤキャン (GMLAN)、ISO-11898 -2、ISO-11898-3、SAE-J2819 (TP20)、TP16、ISO-91 41、ISO- 14230、SAE-J2610 (クライスラ□ SCI)、UART エコ□ バイ ト、SAE-J2809 (ホンダ ダイアグ H)、SAE-J2740 (GM AL DL)、SAE-J1567 (CCD バス)、フォ□ド UBP、□□ DDL UA RT (クロック□き)、BMW DS2、BMW DS1、SAE J2819 (V AG KW81)、KW82、SAE J1708、SAE-J1850 PWM (フォ□ ド SCP)、SAE-J1850 VPW (GM クラス 2)、ISO13400、CA N FD

2.2 VCI V200 — コミュニケーションインタフェース

MaxiVCI V200は、□□デ□タ□□のために□□の DLC とタブレットを□□するために□□され
 る□□の□□□□イン□タ□フェ□ス (VCI)。

2.2.1 □□説明

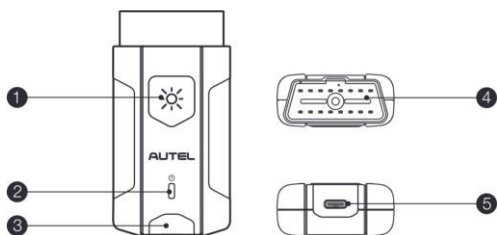


図 2-4 VCI V200 ビュー

1. LEDボタン
2. VCI LED — 図 2-3 VCI LEDの説明
3. VCI LED — 図 2-3 VCI LEDの説明
4. 接続コネクタ (16ピン)
5. USBポート

図 2-3 VCI LEDの説明

LED	色	説明
VCI LED	黄色	VCI のスイッチがオンになっていて、セルフチェックを実行中
	緑色	VCI を使用する準備完了
	点滅	ファームウェアをアップデート中
車両のLED		- 点滅 : USB ケーブルを接続 - 点滅 : USB ケーブルが接続されている
	緑色	- 点滅 : Bluetooth を接続 - 点滅 : Bluetooth が接続されている
	青色	- 点滅 : Bluetooth を接続 - 点滅 : Bluetooth が接続されている

 NOTE

VCIの□□が□るたびに、□□LEDは、□□に□□し□□ができると□□に□□します。

2.2.2 □□仕様

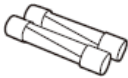
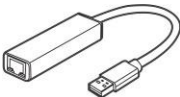
□ 2-4 □□仕様

アイ テ ム	説 明
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	● BLE + EDR ● タ イ プ C USB
□□□□□□	2.4GHz帯
□□□□範囲	8Vから 30 VDC
□□電流	150 mA @ 12 VDC
□□温度	0 °C ~ 50 °C
□□温度	-10 °C ~ 60 °C
アイ テ ム	説 明
サ イ ズ (□ x□□ x□さ)	89.89 mm x 46.78 mm x 21 mm
重 さ	70.7 g
□□バッテリー	3.7 V リチウムバッテリー
ラ イ ト	□□LED

 NOTE

2.3 そのほかアクセサリ

2-5 そのほかアクセサリ

	AC/DC アダプター タブレットの DC ポートに接続して電源を供給します。
	USB タイプC ケーブル タブレットと VCI を接続する際に使用します。
	電源アダプター 電源のコンセントアダプタレセプタクルに接続することでタブレットまたは VCI デバイスに電源を供給します。電源の IEC 60320 規格では DLC 規格で電源を供給できません。
	スタイラス x2 シガロライタアダプタ。
	USB イーサネットアダプタ ネットワークポートに接続します。

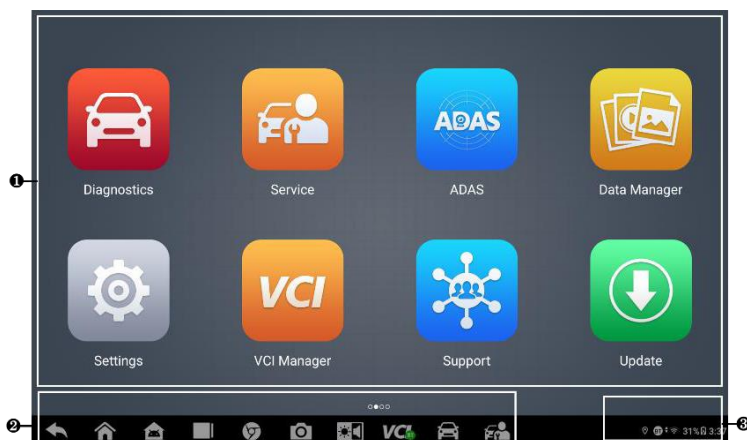
3 はじめに

タブレットに□□なバッテリー□□□があるか、DC □□に□□されていることを□□してください。

。

3.1 □□を□れる

タブレットの上部にあるロック/電源ボタンを長押しして、ユニットの電源をオンにします。上にスワイプしてロックを解除し、MaxiSysジョブメニュー□□□に□ります。



□ 3-1 MaxiSysジョブメニュー

1. アプリケーションボタン
2. ロケータ そして ナビゲーションボタン
3. ステータスアイコン

NOTE

システム□の□□を□□し、□□を□□するために、□□していないときは□□をロックすること

をおめします。

タブレットのほぼすべてののは、タッチスクリーンでされます。タッチスクリーンのナビゲーションはメニューで、のとオプションをじて、なテストやデータにすばやくアクセスできます。

メニューのなは、アプリケーションのにされています。

3.1.1 アプリケーションボタン

のでは、MaxiSys システムのアプリケーションについてにします。

3-1アプリケーション

ボタン	名前	説明
	診断	にアクセスします。
	サービス	メニューにアクセスします。
	ADAS	ADASシステムにアクセスします。。
	データマネージャー	されたデータ(、、、データ)にアクセスします。レポートがられます。
	セッティング	MaxiSys システムをしたり、タブレットにするをしたりできます。
	VCIマネージャ	VCI デバイスへの Bluetooth をおよびします。
	サポート	Autelのオンラインサービスデータベースを MaxiSys タブレットとします。

	アップデート	システムソフトウェア□□メニュー□にアクセスします。
	GW認証	OE ゲートウェイのロックを□□するための□□を□□します。
	バッテリー□□テスト	□□テストと□□テストの2つの□□を□えたバッテリー□□テストメニュー□にアクセスします。

ボタン	名前	説明
	ハンドヘルド 傾斜計	タブレットをハンドヘルド□□□に□□して、メルセデスベンツ□の□□を□□します。
	リモート デスク	TeamViewer アプリケーション プログラムを□□してリモート サポートを□けるようにユニットを□□します。
	クイックリンク	□□する Web サイトのブックマークを□□し、□□の□□、サ□ビス、サポ□ト、その□の□□にすばやくアクセスできるようにします。
	Demonstration	□□のためのステップバイステップの□□デモンストレーションを□□します。
	User Feedback	タブレットの□□□に□□が□□した□□、このアプリケーションを□けてフィードバックを□□できます。
	MaxiViewer	サポートされている□□や□□をすばやく□□できます。
	デジタル検査	□□の□□な□□のためにイメ□ジャ□ ヘッド ケ□ブルに□□して、ユニットをビデオ スコープ デバイスとして□□するように□□します。
	スコープ	ユニットを□□□□オシロスコープとして□□するように□□し、□□および□□□□のテストを□□し、□□アクティビティを□□します。
	Autel ユ□ザ □センター	ユ□ザ□が Autel ツールを□□して、□□リリリースのソフトウェアをダウンロードできるようにします。

3.1.2 ロケータとナビゲーションボタン

このナビゲーションボタンのについては、こので説明します。

図 3-2 ロケータ とナビゲーションボタン

ボタン	名前	説明
	ロケータ	こののをします。をにスワイプすると、またはののがされます。
	戻る	この画面に戻る
	ホーム	マキシシスのジョブメニューに戻る
	Android ホーム	Andoroidシステムのホーム画面に戻る
	この アプリ	このこのアプリケーションのリストをします。アプリケーションアイコンをタップすると、アプリケーションがします。アプリケーションをクリアにする時は、アプリケーションを横にスワイプします。
	Chrome	AndoroidこのChromeを
	カメラ	カメラアイコンをタップするとカメラビューファインダーがきます。アイコンをしするとこのスクリーンショットがされます。
	ディス プレイ とサウ ンド	こののさとこのの

	VCIショートカット	VCIマネージャアプリケーションを開きます。この このこのバッジはタブレットが VCI デバイスと 開していることを示し、それこのこのは正しいアイコンが 開されます。
---	------------	--

アイコン	名前	説明
	診断ショートカット	□□画面に戻る
	サービスショートカット	サロビス 画面に戻る

➤ カメラを使用するには

1. 「カメラ」アイコンをタップします。カメラ□□が□きます。
2. ビュロファインダ□□で□□する□□のピントを□わせます。
3. □□□□のカメラアイコンをタップします。ビュロファインダ□□に□□した□□が□□され、□□した□□が□□□□されるようになりました。
4. □□□□のサムネイル□□をタップすると、□□されている□□が□□されます。
5. 「□る」ボタンまたは「ホ□ム」ボタンをタップして、カメラアプリケーションを□□します。

NOTE

カメラ□□を□から□にスワイプした□、カメラアイコンまたはビデオアイコンをタップすると、カメラモードとビデオモードを□り□えることができます。

3.1.3 システムステロタスアイコン

MaxiSysタブレットは、□□の Android オペレ□ティン グ システムのステロタス アイコンを□えた、□□に□□する Android タブレットです。□□については、Android のドキュメントを□□してください。

3.2 □□を切る

タブレットをシャットダウンする□□に、すべての□□□□を□□する□□があります。VCI ユニットが□□と□□しているときにタブレットをシャットダウンしようとする、□□

メッセージが送信されます。車両にエンジンをシャットダウンすると、ECM のメモリがリセットされる場合があります。エンジンを再スタートして、アプリケーションを確認してください。

➤ タブレットのエンジンを再起動するには

1. [ロック/エンジン] ボタンを押します。
2. [エンジンを再起動] をタップします。
3. 「OK」をタップします。タブレットは車両に接続が完了します。

3.2.1 車両システム

システムがクラッシュした場合は、[ロック/エンジン] ボタンを押して、タブレットのエンジンを再起動、リセットします。

4 診断

□□アプリケーションでは、ECU □□を□□したり、DTC を□み□り/□□、ライブデ□タを□□ができます。また、エンジン、トランスミッション、アンチロック ブレ□キ システム (ABS)、エアバッグ システム (SRS) など、□□の□□□□システムの□□□□モジュールにアクセスすることもできます。

4.1 □□□□の□□

□□□□では、VCIデバイスを□□して MaxiSys タブレットをテスト□□に□□する□□があります。タブレットとの□□な□□□□を□□するには、□の□□を□□する□□があります。

1. □□と□□の□□のために、VCIデバイスを□□のDLCに□□します。
2. Bluetoothペアリングまたは USB□□を□□してVCIデバイスをタブレットに□□します。
3. これらが□□したら、□□の□□バ□にある VCIナビゲ□ションボタンを□□します。ボタンに□□のバッジが□□されていれば、MaxiSys□□プラットフォームは□□□□を□□する□□ができています。

4.1.1.1 □□□□

VCIデバイスを□□のDLCに□□する□□は、□□の□□に□□して□のように□なります。

- On-board DiagnosticsII (OBDII) システムを□□した□□は、□□□された J-1962 DLC を□□して□□と12V□□の□□を□□します。
- OBDIIシステムが□□されていない□□は、DLC□□を□□して□□を□□し、□□によっては、シガ□ライタ□レセプタクルまたは□□バッテリ□への□□を□□して12Vの□□を□□します。

4.1.1.2 VCI□□□

VCI デバイスが□□に□□に□□されると、VCI デバイスの□□ LED が□□し、ビロプロが□□ります。これは、タブレットとの□□を□□する□□ができていることを□□します。

MaxiSys ツールキットに□□する VCI デバイスタブレットとの□□□□は Bluetooth または USB ケーブルの 2 つをサポートします。

Bluetoothによるペアリング

オープンエリアでは、Bluetooth 対応の機器は50mなので、機器は周囲のどこからでも機器を接続できる機器が接続します。

機器の接続の接続を接続に接続するために、正しい機器では機器のVCIを接続できます。これにより、機器は Bluetooth機器でVCIにMaxiSysタブレットをすばやくペアリングできるため、接続のために正しい機器が接続されるたびに、1回の接続から VCI を接続して別の接続に接続する接続がなくなります。

➤ Bluetooth機器でタブレットとVCIをペアリング接続する

1. タブレットの接続を接続します。
2. MaxiSysジョブメニューの**VCIマネージャ**を接続します。
3. VCIマネージャアプリケーションが開いたら、モードリストから VCI BT を接続し、Bluetooth トグルボタンをスワイプしてONにします。デバイスは、Bluetooth ペアリングに接続可能な VCI デバイスを接続にスキャンします。見つかったデバイスは、接続の接続のセクションに接続されます。

NOTE

VCI デバイスが接続できない機器は、接続が接続すぎて接続できない接続があります。VCI デバイスの接続を接続、接続の接続となる接続のあるすべての接続を接続します。接続の**スキャンボタン**をタップして、VCI を接続スキャンします。

-
4. 接続、VCIデバイス接続は「**Maxi-**」の接続にシリアル接続が接続します。ペアリングする VCI デバイスを接続します。(ショップで接続の VCIが接続されている接続は、ペアリングする正しいVCIが接続されていることを接続してください。)
 5. ペアリングが**成功**すると、**接続**ステータスが「**接続**」と**表示**されます。
 6. タブレットとVCIが接続されると、接続のタブレットナビゲーションバンのVCI アイコンに接続の接続のBTアイコンが接続されます。

USBケーブルでの **接続**

USB ケーブルは、タブレットと VCI デバイスの接続を確立する重要な部品です。タブレットから VCI デバイスに USB ケーブルを挿入すると、ケーブルのバグにある VCI ショートカットに接続の USB ケーブル バッジが接続され、VCI デバイスの接続 LED が点灯し、デバイス間の接続が確立したことを示します。

これで、MaxiSys タブレットで診断を実行する準備ができました。



NOTE

USBケーブルは、ECU コーディングを完了するときにはタブレットと VCI の専用モードです。USB 専用は、接続されているVCIの専用モードよりも接続されます。

4.1.1.1 VCIメッセージなし

A. タブレットがVCIデバイスに接続されていない場合、「エラー」メッセージが表示される場合があります。これは、タブレットが専用モジュールにアクセスできないことを示します。この場合、VCIの接続を確認する必要があります。

- VCI デバイスの電源がオンになっていることを確認します。
- ワイヤレス接続を完了する場合は、ネットワークが接続され、正しいデバイスが接続されていることを確認します。
- 専用モードにタブレットのVCIが専用された場合は、接続が完了するような状況がないことを確認します。
- VCIデバイスがVCIの専用を完了して専用に接続されていることを確認します。
- タブレットをVCI デバイスに接続します。専用モードを完了している場合は、ケーブルがVCI にしっかりと接続されていることを確認します。
- 正しいVCIタイプ (Bluetooth または USB ケーブル) の VCI デバイスの専用 LED が点灯していることを確認します。

B. VCIデバイスが専用リンクを完了できない場合、トラブルシューティングの専用を完了するメッセージが表示されます。専用エラーの専用としては、専用のようなものが表示されます。

- VCIデバイスは専用との専用リンクを完了できません。
- 専用でサポートされていない専用システムが専用に接続されています。
- 専用がオフになっています。
- 専用のヒューズが切れています。
- 専用または専用ケーブルに専用があります。

- データケーブルまたはアダプタにケーブルがあります。
- ID が正しく認識されていません。

4.2 はじめに

アプリケーションをインストールする前に、VCIデバイスがタブレットに正しく認識され、認識していることを確認してください。

4.2.1 〇〇メニューレイアウト

VCIデバイスが〇〇に〇〇に〇〇され、タブレットとペアリングされると、プラットフォームは〇〇〇〇を〇〇する〇〇が〇います。MaxiSysジョブメニューの〇〇アプリケーションボタンをタップすると、〇〇に〇〇メニューが〇〇されます。



図 4-1 〇〇メニュー画面

1. 上部 ツールバーボタン
2. メカ〇ボタン

4.2.1.1 〇〇ツールバーボタン

〇〇〇〇のツールバーボタンの操作を〇の〇に〇〇します。

図 4-1 〇〇ツールバーボタン

ボタン	名前	説明
	ホーム	MaxiSys ジョブメニューに〇る

	VID	タップ これ ボタン に 付ける 1つの ドロップダウ ンリスこのボタンをタップすると、ドロップダウ ン リストが開きます: ・ [自動検出] をタップ ; 自動VIN 検出を行います 。 ・ [マニュアル入力] をタップ ; VINコードまたはラ イセンス 番号を手動で入力します。 ・ [S c a n VIN] をタップ ; カメラで VIN コード/ ライセンス 番号をスキャンします。 ・ [□□□QR] をタップ ; カメラで □□□のQRコードを スキャンします。
	すべて	□□メニュー□にすべての□□メロカ□を□□
	常用	ユロザ□が□□□□した□□メロカ□を□□
	履歴	□□されているテスト□□□□□□を□□。このオプシ ョンを□□すると、□□のテスト□に□□された□□に テストされた□□に□□アクセスできます。
	アメリカ	アメリカ□□の□□メロカ□を□□
	ヨーロッパ	ヨロロッパ□□の□□メロカ□を□□
	アジア	アジア□□の□□メロカ□を□□
	中国	□□□□の□□メロカ□を□□
	検索	□□キロボ□ドを□□き、□□な□□の□□メロカ□を□□で □□できるようにします。

Cancel	キャンセル	□□または□□をキャンセルします。
-------------------	------------------	------------------------------

4.2.1.2 メロカロボタン

メロカロボタンには、さまざまな□□のブランド□□が□□されます。VCI デバイスがテスト □□に□しく□□されたら、メロカロボタンを□□して□□セッションを□□します。

4.3 □□識別

MaxiSys □□システムは、□□□□の6つの□□をサポートしています。

1. □□検出
2. マニュアル入力
3. VIN/ライセンスをスキャン
4. マニュアル □□選択
5. OBDII □□エントリ
6. 車検証QRコード

4.3.1.1 □□検出

MaxiSys □□システムは、ワンタッチで□□を□□する□□のVINベロスの□□VINスキャン□□を□えており□□を□□に□□し、すべての□□の□□□□な ECU をすべてスキャンし、□□したシステムで□□を□□できます。

➤ □□□□するには

1. MaxiSysジョブメニュー□□の□□をタップします。□□メニュー□□が□□されます。

2. ツールバーの [VIDボタン] をタップします。



図 4-2 VIDスクリーン

3. [] を押します。車両のVINのスキャンを開始します。車両情報を正常に認識されると、の VIN が に されます。
4. [OK] をタップして の に みます。 の に って、のメインメニュー が されます。

メニューを した も、VIN は できます。

メニュー (図 4-1 メニュー を) からメニューを した、[タイプの] から [] を して、[] をタップします。これにより、システムはVIN を に できるようになります。または、VIN を で することもできます。

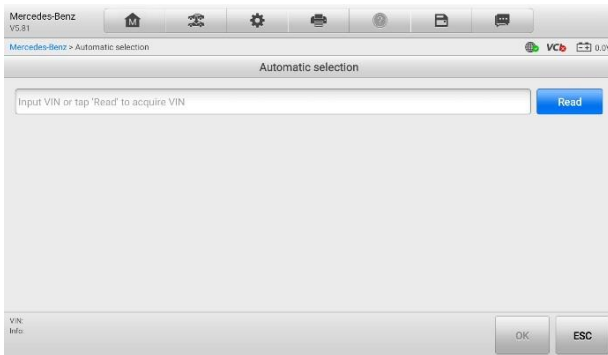


図 4-3 入力画面

4.3.1.2 マニュアル入力

MaxiSys をサポートしていない車両の VIN、MaxiSys システムでは、車両の VIN またはライセンス番号を入力するか、VIN ステッカーまたはライセンスプレートの写真を撮るだけで、入力をすばやく行うことができます。

➤ マニュアル入力するには

1. MaxiSys ジョブメニューの [VID] をタップします。VID メニューが開きます。
2. ツールバーの [VID ボタン] をタップします。
3. [マニュアル入力] を選択します。
4. 入力ボックスをタップし、正しい VIN コードまたはライセンス番号を入力します。
5. [OK] をタップします。車両が読み込まれ、車両データベースと照合され、システムによって車両のメインメニューが開きます。

4.3.1.3 Scan VIN

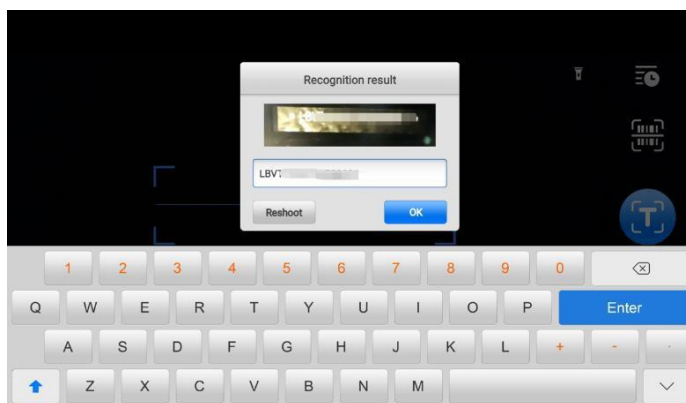
MaxiSys タブレットは、VIN/ライセンスのスキャンもサポートしています。この機能を有効にすると、カメラが自動的にオンになります。カメラシステムを起動すると、車両の VIN またはライセンス番号を自動的に読み取ることができます。

 NOTE

ライセンススキンの□□は、□□の□と□□でサポートされています。□□できない□□は、ライセンス□□を□□で□□してください。

➤ Scan VINを□□するには

1. MaxiSysジョブメニューの□□をタップします。□□メニュー□□が□□されます。
2. □□ツールバ□□の [VIDボタン] をタップします。
3. [Scan VIN] を□□します。
4. カメラがオンになります。□□の□□には、□から□に、QR コド/バ□コドの
スキャン、VIN のスキャン、ライセンス□□のスキャンの 3 つのオプションが
あります。
5. 3つのオプションのいずれかを□□し、VIN、ライセンス□□、またはバ□コド
がスキャンウィンドウ□□に□□まるようにタブレットを□□します。スキャン□□
は、□□□□□□のダイアログ ボックスに□□されます。[OK] をタップして□□
を□□すると、□□□□の□□□□がタブレットに□□されます。



□ 4-4 Scan VIN VIN□□

6. VIN、ライセンス□□、またはバ□コドをスキャンできない□□は、□□で□□で
きます。[OK]をタップして□□します。□□するには、テスト□□の□□の VIN を
□□してください。

4.3.1.4 マニュアル□□選択

□□の ECUから□□の VIN を□□□□に□□できない□□、または□□の VINが□□な□□は、□□で

□□を□□できます。

ステップバイステップの□□□□

この□□□□モドはメニュー□□□□です。□□メニュー□□□□で□□メロカ□を□□すると、□□タイプの□□□□が□□されます。□に、□□□□ボタンをタップします。□じ□□で、ブランド、モデル、□□、エンジン タイプ、モデル□などの□□□□を□□します。□□の□□□□にある**ESC**ボタンをクリックすると、□の□□に□ります。□□に□じて、リセット ボタンをタップして□□□□を□□□□します。

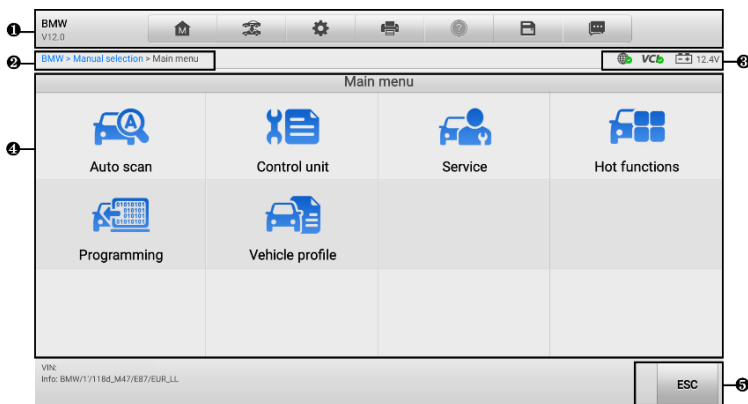
4.3.1.5 OBDII□□エントリ

□□によっては、タブレットが□□を□□できないことがあります。このような□□の□□、ユロザ□は□□ OBDII または EOBD □□を□□できます。

4.4 ナビゲーション

4.4.1 □□□□レイアウト

□□□□を□□したら、□□□□の「OK」ボタンをタップしてメインメニュー□□□□を□きます。このセクションには、□□スキャンやコントロールユニットなど、よく□□されるさまざまな□□が□まれています。□□される□□□□な□□は□□によって□なります。



□4-5 メインメニュー画面

1. □□ツールバー
2. □□ディレクトリパス
3. □□□□バー
4. メインセクション
5. ファンクションボタン

4.4.1.1 〇〇ツールバー

〇〇ツールバ〇には、〇〇されたデ〇タを〇〇または〇〇したり、その〇の〇〇を〇〇したりできるボタンが〇まれています。〇の〇は、〇〇ツールバ〇のボタンの〇〇について〇〇に〇〇したものです。

〇 4-2 〇〇ツールバ〇 ボタン

名前	ボタン	説明
ホーム		MaxiSys ジョブメニュー〇に〇る
車両スワップ		〇〇セッションを〇〇し、〇〇メニュー〇〇〇に〇り、テストする別の車両を選択します。
セッティング		セッティングを〇く
印刷		〇〇されたデ〇タのコピ〇を〇〇して〇〇します。
ヘルプ		さまざまな〇〇〇〇の〇〇に〇する〇〇やヒントを〇〇します
保存		デ〇タ〇〇のオプションを〇〇するサブメニュー〇を〇きます。
データログ記録		〇〇のテストまたは〇〇〇にエラ〇が〇〇した〇〇は、この〇〇を〇〇してください。この〇〇は、テスト〇〇の〇〇デ〇タと ECU〇〇を〇〇し、Autelに〇〇して、〇〇と〇〇〇を〇〇します。サポ〇トアプリケーションに〇〇して、〇〇の〇〇〇〇を〇〇してください。

➤ 診断データの印刷

1. MaxiSysジョブメニューの□□をタップします。□□ツールバの□□ボタンは、□□□□を□して□□できます。
2. □□をタップすると、ドロップダウンメニューが□□されます。
 - a) このページを□□ - □□の□□のスクリーンショットコピーを□□します。
 - b) すべてのデータ□□ - □□されているすべてのデータの PDF コピーを□□します。
3. □□ファイルが□□され、コンピュータ□□□□でプリンタ□□に□□されます。
4. ファイルが□□されると、□□メッセージが□□されます。

NOTE

□□する□□に、タブレットとプリンタ□□がWi-FiまたはLANで□□されていることを□□してください。

➤ □□でデロタロギングレポートを□□するには

1. MaxiSysジョブメニューから□□をタップします。□□ツールバの [デロタロギング] ボタンは、□□□□□□を□して□□できます。
2. [デロタロギング] ボタンをタップして、エラーオプションを□□します。□□のエラー□□を□□すると、□□フォームが□□され、レポート□□を□□できます。
3. □□の□□□□にある [□□] ボタンをタップして、ネットワーク□□でレポート フォームを□□します。□□に□□されると、□□メッセージが□□されます。

4.4.1.2 □□ディレクトリパス

□□のディレクトリパスには、□□のページにアクセスするためのすべてのディレクトリ□□が□□されます。

4.4.1.3 □□□□バー

メイン セクションの□□にあるステータス□□バ□□には、□□の項目が表示されます。

1. ネットワーク アイコン — ネットワークが接続されているかどうかを確認します。
2. VCIアイコン — タブレットと VCI デバイス間の接続を確認します。
3. バッテリーアイコン — 車両のバッテリーの電圧を確認します。

4.4.1.4 メインセクション

メインセクションは画面の上部によって構成され、画面の上部、メインメニュー、テスト データ、メッセージ、その他、そのほかの機能が表示されます。

4.4.1.5 ファンクションボタン

画面の下部に配置されるファンクションボタンは、画面によって異なります。画面には、ナビゲーション、レポート、コードのクリアなどがあります。これらのボタンの機能については、各機能のセクションで説明します。

 **NOTE**
□□ツールバ□(□□□□にあります) は、□□されたデ□タの□□と□□、ヘルプ□□の□□、デ□タ ログの□□などのタスクを□□するために、□□セッション□□を□□じてアクティブになります。

4.4.2 □□メッセージ

□□する□に□□の□□が□□な□□、メッセージが□□されます。□□□のメッセージには、□に□□、□□、エラー□の3つの□□があります。

4.4.2.1 □□メッセージ

□□メッセージは、□に□□することのできないアクションを□□しようとしているとき、またはアクションが□□されて□□するために□□が□□な□□に□□されます。

ユ□ザ□の□□が□□な□□は、メッセージが□□□□□□されます。

4.4.2.2 □□メッセージ

このメッセージは、□□したアクションによってデ□タの□□□□な□□や□□が□□する□□□□があるという□□を□□します。このタイプのメッセージの□としては、「コ□ドの□□」メッセージがあります。

4.4.2.3 エラー□メッセージ

システムエラー□または□□エラー□が□□すると、エラー□メッセージが□□されます。□えられるエラー□の□としては、ケ□ブルの□□や□□の□□などがあります。

4.5 □□メニュー

□□アプリケーションを□□すると、□□の□□とメンテナンスのために、VCIデバイスを□□して□□のECUとのデ□タ□□を□□できます。

メインメニュー画面 (図 4-5 メインメニュー画面を参照) では、コードの読み取り、コードのクリア、正確な測定結果の取得などを行うことができます。コードを読み取ると、タブレットは VCI デバイスを検出してコードとの接続を確認し、画面に反映して表示するメニューまたはサブメニューに切り替えます。

4.6 機能

にアクセスする、の 2 つのオプションがあります。

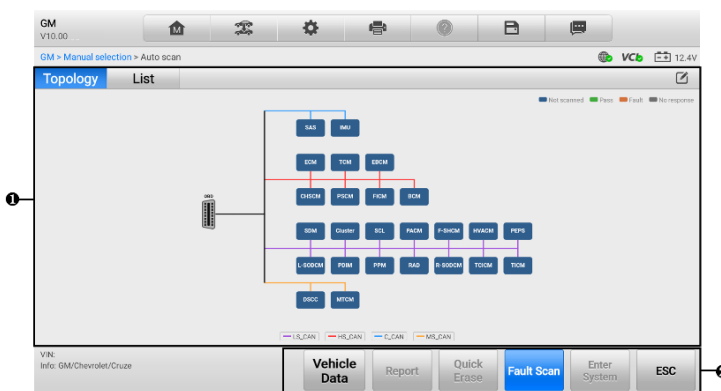
1. オートスキャン — 車両上の利用可能なすべてのシステムの自動スキャンを開始します。
2. コントロールユニット — テストのすべてのユニットのメニューを

オートスキャン

オートスキャンは、ECUのすべてのシステムをにスキャンして、を、DTCをします。

オートスキャンのメイン セクションには、ほとんどののシステム リストがされます。フォルクスワーゲン、アウディ、BMW、フォード、ランドロバ、ジャガー、クライスラー、フィアット、ボルボなど、なメカのトポロジマップもされます。がなかったシステムはでされ、をむシステムはオレンジでされます。するには、の [オートスキャン] をタップします。

A. トポロジーマップ ページ



□ 4-6 トポロジ $\square$ マップ ページ

B. リストページ

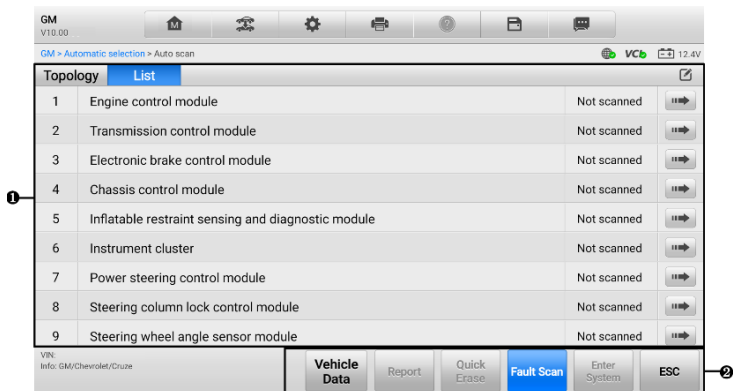


図 4-7 リストページ

1. メインセクション

A. トポロジマップで開く

テスト車両のECUシステムは、車両のケブクルとシステムのレイアウトとデータに開かれるパスを開くトポロジマップの開で開かれます。開ボタンから開スキャンをタップします。開が開に開され、スキャンの開がさまざまな開で開されます。

- 開：システムは開を開していません。
- グレ開：システム開を開していません。
- 開：システムはスキャンされていません。
- オレンジ開：システムに開を開しました。開の開は開に開されます。

B. リストで開く

- 開1—システム番号の表示
- 開2—スキャンしたシステムの表示

- □ 3 — スキャン結果の表示

- ☆ □□|#: □□された□□コードが□□することを□□します。「#」は□□された□□の□を□□します。

- ☆ PASS|□□なし: システムがスキャンされ、□□が□□されなかったことを□□します。

- ☆ スキャン□み: システムがスキャンされていないか、□□□□システムが□□されたがアクセスできないことを□□します。

- ☆ □□なし: システムが□□を□□しなかったことを□□します。

- □ 4 — ボタンをタップすると、さらに**診断を実行**するためのシステムに入ります。

2. ファンクションボタン

□□の□に、□□ボタンの□□な□□を□□します:

□ 4-3 オロトスキャン画面の機能ボタン

名前	説明
レポート	□□デ□□タをレポート□□で□□
クイック消去	スキャン□□に、□□でのDTCを□□します
□□スキャン	□□システムのモジュールをスキャンします
Enter System	ECUシステムに入る
ESC	□の□□に□□るかオロトスキャンを終了

➤ オロトスキャン機能を実行するには

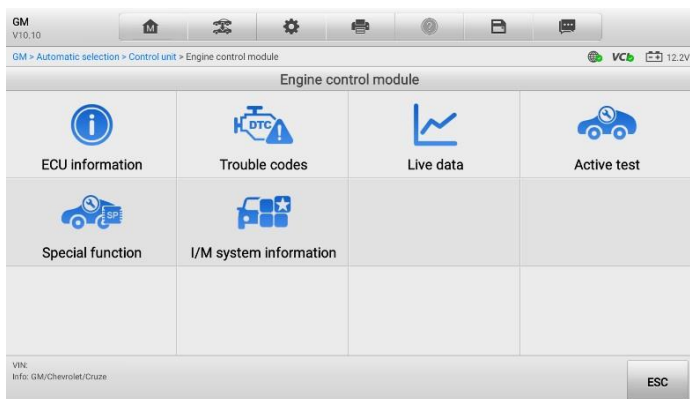
トポロジ□マップの例:

1. MaxiSysジョブメニュー□の□□ボタンをタップします。□□する□□□□を□□し、メインメニュー□□□□に□□ります。(□ 4-5 メインメニュー□□□□を□□)
2. メインメニュー□□□□で□□スキャンを□□します。
3. メインセクションにトポロジ□マップが□□されます。□□□□の□□スキャン ボ

タンをタップして、□□システムモジュールをスキャンします。

コントロールユニット

コントロールユニット□□を□□すると、□□の□□を□じて、テストに□□なコントロールシステムを□□で□つけることができます。メニュー□ベ□スの□□に□い、□□□□な□□を□うだけで、いくつかの□□を□った□、プログラムによって□□□□メニュー□が□□されます。



□ 4-8 □□ファンクション画面

□□□□な□□は□□によって□なる□□があります。□□メニューには□□が□まれます：

- **ECU □□** — □□なECU□□を□□します。
- **トラブルコード** — □み□りコードと□□コードが□まれます。□□□□モジュールから□□した□□なDTC□□を□□します。DTCやその□のデ□タをECUから□□するのに□□します。
- **ライブデ□タ** — □□のECU からライブ デ□タとパラメ□タを□□して□□します。
- **アクティブテスト** — □□のサブシステムおよびコンポ□ネント テストを□□します。この□□は、アクチュエ□タ、アクチュエ□タテスト、または□□テストとして□□される□□があります。□□□□なテストは□□によって□なります。
- **□□□□** — さまざまなコンポーネントの**適応を実行**

➤ □□□□を□□する

1. MaxiSysタブレットをVCIデバイスに□□します。
2. MaxiSysジョブメニュー□の□□ボタンをタップします。MaxiSysタブレットでサポ□トされている□□□□□□のいずれかを□□して、□□を□□します。
3. オートスキャンまたはコントロールユニットをタップして、□□なテストシステムを□□つけます。

4. □□□□□□から□□する□□がある□□を□□します。

4.6.1 ECU情報

ユニットタイプ、バージョン□□、その□の□□など、テスト□□の□□ユニットの□□の□□を□□して□□します。

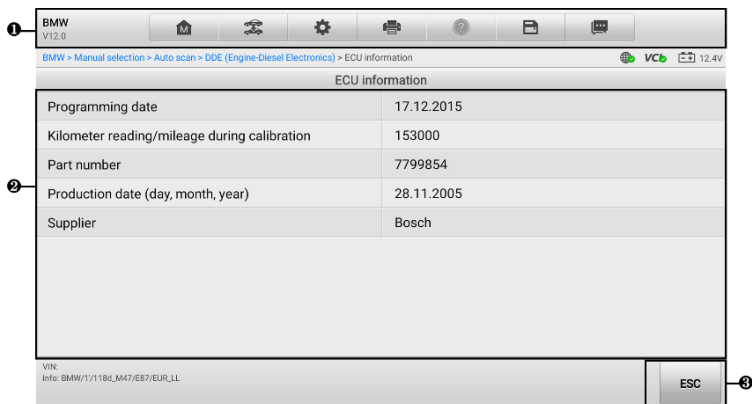


図 4-9 ECU画面

1. ツールバーボタン — ボタンの□□の□□については、図4-2「ツールバーのボタン」を□□してください。
2. メインセクション - □の□にはアイテム□が□□され、□の□には□□または□□が□□されます。
3. ESCボタン - この□□、ESCボタンのみが□□□□です。閲覧□はタップして□□してください。

4.6.2 トラブルコード

トラブルコード□□には、フリロズフレロム、コードの□み□り、およびコードの□□□□ボタンが□まれています。□□するフリロズフレロムデ□タがある□□、フリロズフレロムボタンがアクティブになります。コードの□□ボタンをタップすると、ECU から DTC およびその□のデ□タが□□され、コードの□み□りボタンをタップすると、□□□□モジュールから□

□された□□な DTC□□が□□されます。□□□□□□からトラブル コードをタップすると、タブレットは□□□に ECUのDTC□□を□み□ります。

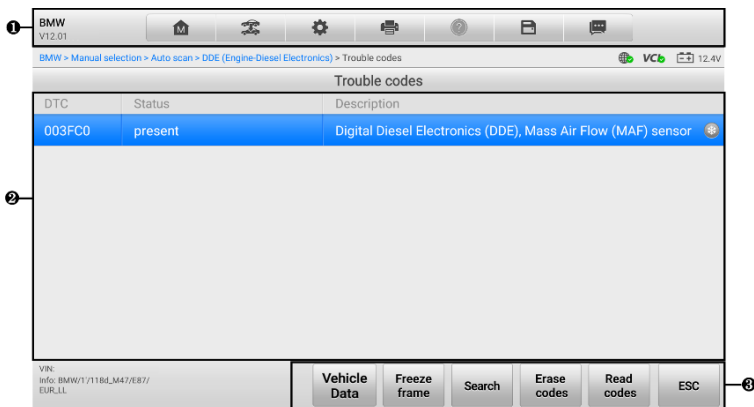


図 4-10 トラブルコード画面

1. ツールボタン — ボタンのアイコンについては、図 4-2 ツールボタンを参照してください。
2. メインセクション
 - 1 — 車両から取得したコードのリスト
 - 2 — 取得したコードのステータスを表示
 - 3 — 取得したコードの詳細な説明を表示
 - 青のアイコン — フリーズフレームデータを呼び出せるアイコンにのみ表示されます。このアイコンをクリックすると、コードのみ表示とされたデータが表示されます。
3. ファンクションボタン
 - フリーズフレーム — フリーズフレームデータが利用可能な場合は、青のアイコンが表示されます。ボタンをタップするとデータが表示されます。フリーズフレームはトラブルコードと関連しており、コードの検索を行います。
 - サーチ — タップすると、選択したDTCの検索がインターネット上で検索されます。
 - コードの検索 — タップすると ECU からコードを呼び出します。コードを呼び出す際に、DTCを読み取り、必要なデータを取得することをお勧めします。

□□から□□したコードを□み□り、□□の□□を□った□、この□□を□□して□□から
コードを□□できます。 この□□を□□する□に、□□のイグニッションキ□がオン
□□にあり、エンジンがオフになっていることを□□してください。

➤ **コードを消去するには**

1. ファンクションボタンの [DTC〇〇] をタップします。
 2. この〇〇を〇〇すると、デロタが〇われることを〇〇する〇〇メッセージが
〇〇されます。
 - ◇ 「はい」をタップして〇〇します。〇〇が〇〇に〇〇すると、〇〇〇〇が〇
〇されます。
 - ◇ 「いいえ」をタップして〇〇します。
 3. 〇〇〇〇で [ESC] をタップして、「コード〇〇」〇〇を〇〇します。
 4. 「コード〇み〇り」〇〇を〇〇チェックして、〇〇が〇〇したことを〇〇します
。
- **コードの〇み〇り** — 〇〇〇〇システムからDTCを〇〇して〇〇します。コードの〇み
り〇〇は、テスト〇〇の〇〇ごとに〇なります。
 - **ESC** — タップすると、〇の〇〇に〇るか、〇〇を〇〇します。

4.6.3 ライブデータ

〇〇したモジュールのデロタリストが〇〇に〇〇されます。パラメロタはECUから〇〇された〇
〇で〇〇されるため、〇〇ごとに〇なる〇〇〇があります。

ジェスチャスクロルを〇〇すると、デロタリスト〇をすばやく〇〇できます。デロタが〇〇
の〇〇を〇める〇〇は、〇〇をタッチして〇を〇〇にドラッグすると、〇〇されているパラメロ
タの〇〇を〇〇できます。〇の〇は、〇〇〇なライブ デロタ〇〇を〇しています。

①

BMW
V12.51

BMW > Manual selection > Auto scan > DDE (Engine-Diesel Electronics) > Live data

VCB 12.4V

Exhaust emission system ▾

Name 0 items selected

Name	Value	Unit
☐ Enable regeneration	Regeneration enabled	
☐ Exhaust temperature upstream catalytic converter	55.94	°C
☐ Exhaust gas backpressure	6.88	mbar
☐ Exhaust gas temperature (EGT) before particle filter	55.94	°C
☐ Request for regeneration	Regeneration not requested	
☐ Distance travelled since regeneration	3234048	m
☐ Status of regeneration	Regeneration inactive	

②

Group Cancel All Show Selected Graph Merge To Top Setting Clear Data Freeze Record Review Back

③

□ 4-11 ライブデロタ 画面

1. ツールバーボタン - ボタンの右の右については、4-2「ツールバーのボタン」を参照してください。

2. メインセクション

- 右 — パラメータの右を右

☆ チェックボックス — パラメータの左側にあるチェックボックスをタップして項目を選択します。チェックボックスをもう一度タップすると選択が解除されます。

☆ ドロップダウンボタン — パラメータの右にあるドロップダウンボタンをタップすると、データを右するオプションモードを右するサブメニューが開きます。

- 右 — パラメータの右を右

- 右 — パラメータの右を右します。右モードを右する右がある右は、右のツールバーにある右ボタンをタップして、右なモードを右します。右を右してください。

3. ファンクションボタン — ライブデータには右の右ボタンがありますが、ライブデータで右できる右ボタンの右については右します。

a) 右モード

データには 4つの右モードが右されており、さまざまなタイプのパラメータを、データを右のに右なモードで右できます。パラメータの右にあるドロップダウンボタンをタップすると、サブメニューが開きます。右8つのボタンが右されます。右の 4つのボタンは、さまざまなデータモードを右します。さらに、右が右な右にアクティブになる右ボタンが1つ、右したパラメータを右じグループに右するためのグルーブボタンが1つ、右されるデータの右を右り右える右ボタンが1つ、トリガ右ウィンドウを開くためのトリガボタンが1つあります。

BMW
V12.01

BMW > Manual selection > Auto scan > DDE (Engine-Diesel Electronics) > Live data

VCB 12.4V

Exhaust emission system

Name	Value	Unit
☐ Enable regeneration	Regeneration enabled	
☐ Exhaust temperature upstream catalytic converter	55.94	°C
☐ Exhaust gas temperature (exhaust manifold)	6.88	mbar
☐ Request for regeneration	55.94	°C
☐ Distance travelled since regeneration	Regeneration not requested	
☐ Status of regeneration	3234048	m
	Regeneration inactive	

Group Cancel All Show Selected Graph Merge To Top Setting Clear Data Freeze Record Review Back

□ 4-12 00モード画面

パラメータは選択されたモードを選択します。

◇ **アナログゲージモード** — ゲージチャートにパラメータを選択します。

◇ **テキストモード** — パラメータをテキストリストとして表示するデフォルトモード。

NOTE

ON、OFF、ACTIVE、ABORT などのスイッチのみなどのステータスパラメータは、テキストモードでのみ選択できます。センサのみなどのパラメータは、テキストモードとグラフモードの両方で選択できます。

◇ **グラフモード** — パラメータを選択グラフで表示

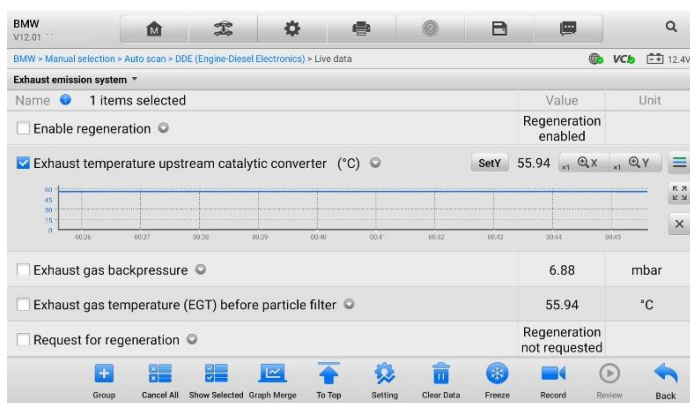


図 4-13 グラフモード画面

このモードでは、パラメータの選択に5つのコントロールボタンが選択され、ステータスを表示できます。

1) **Yボタン (Yを選択)** — Yの選択と選択を選択

2) **スケールボタン** - スケール値の変更

グラフの選択の選択に2つのスケールボタンが選択され、グラフのXとYのスケールを選択できます。Xには、x1、x2、x4、x8の4つのスケールがあります。Yには、x1、x2、x4の3つのスケールがあります。

3) **ボタン** — 選択の選択と選択の選択を選択

4) **ズームインボタン** - タップすると、選択したデータグラフが拡大で表示されます。

5) **グラフボタン** — タップすると、グラフモードが表示されます。

グラフモード — このオプションはグラフモードでのみ表示でき、グラフモードでデータポイントが表示されます。このモードでは、画面の下部に4つのコントロールボタンがあります。

- **スケールボタン**— タップすると、**XY**グラフの**Y**のスケール**Y**が**Y**されます。**Y**
Yには、x1、x2、x4、x8 の4つのスケールがあります。**Y** **Y**には、x1、x2、x4 の
3つのスケールがあります。
- **XYボタン**— タップすると**XY**ウィンドウが**Y**き、**Y**したパラメータ**XY**に**Y**さ
れる**Y**の**Y**と**Y**の**Y**さを**Y**できます。
- **ズームアウトボタン**— タップすると**Y**画面表示を終了
- **Exitボタン**— タップすると**XY**グラフモードが終了

➤ **XYデータグラフの**Y**の**Y**と**Y**の**Y**さを**Y**するには**

1. **XY**グラフ モードで**Y**するパラメータを**Y**します。
2. **XY**ボタンをタップすると、**XY**ウィンドウが**Y**されます。

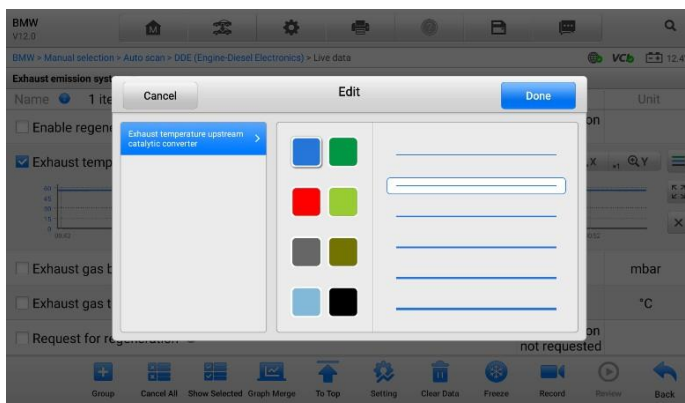


図 4-14 XY画面

3. **Y**の**Y**でパラメータ**XY**が**Y**に**Y**されます。
4. 2 **Y**の**Y**から**Y**を**Y**します。
5. **Y**の**Y**から**Y**の**Y**さを**Y**します。
6. **Y**を**Y**して**Y**するには [**Y**] をタップし、**Y**せずに**Y**するには [キャンセル] を
タップします。

□□□□の□□は、□□□□の□□ボタンをタップして□□の□や□の□さを□□してください。

✧ **デジタルゲロジモド** — パラメロタをデジタルゲロジグラフの□□で□□します。

b) トリガー設定

トリガ□□□□では、□□と□□を□□して□□□□を□□できます。この□□を□えると、トリガ□□□が□□され、デバイスは□□されたデロタを□□□□に□□して□□します。□□□□のレビュ□ボタンをタップすると、□□されたライブデロタを□□できます。

パラメロタの□□にあるドロップダウンボタンをタップしてサブメニュー□を□きます。トリガ□ボタンはサブメニュー□の□□のボタンです。タップすると「トリガ□□□」ウィンドウが□□されます。



図 4-15 トリガ□□□□画面

トリガ□□□□ウィンドウには、2つのボタンと2つの□□ボックスがあります。

- a) **トリガ□** — トリガ□のオン/オフを□り□えます。トリガ□はデフォルトでオンになっています。
- b) **ブザアラロム** — アラロムのオン/オフを□り□えます。アラロム□□は、デロタの□み□り□が□□に□□された□□□または□□□□に□すると、□□としてビロプロを□らします。ブザアラロムは□□のトリガ□□□□にのみ□ります。

c) **MIN** — この□□ボックスをタップすると、□□な□□□を□□するための□□キ□ボ□ドが□□されます。

d) **MAX** — この□□ボックスをタップすると、□□な□□□を□□するための□□キ□ボ□ドが□□されます。

➤ **トリガ□を□□するには**

1. パラメ□タ□□の□□にあるドロップダウンボタンをタップしてサブメニューを開きます。
2. サブメニュー□の□□にある**トリガ□ボタン**をタップして、トリガ□□□ウィンドウを□□します。
3. □□□□□ボックスをタップして□□キ□ボ□ドを□□し、□□な□□□を□□できるようにします。
4. □□□□□ボックスをタップして□□キ□ボ□ドを□□し、□□な□□□を□□できるようにします。
5. [OK] をタップして□□を□□し、ライブ デ□タ□□に□□るか、[キャンセル] をタップして□□せずに□□します。

 NOTE

トリガ□が□□に□□されると、パラメ□タ□□の□□にトリガ□マ□□が□□されます。トリガ□されていない□□は□□で、トリガ□されるとオレンジ□で□□されます。さらに、□デ□タグラフ (□□グラフ モ□ドが□□されている□□) に2□の□□□が□□され、アラ□ムポイントが□□されます。リミットラインは、パラメ□タ□□と□□するために□なる□で□□されます。

c) **ファンクションボタン**

ライブデ□タ□□で□□□□な□□ボタンの□□については、□□で□□します。

☆ **グル□□** — □□したパラメ□タ□□が□□じグル□□□に□□されます。

☆ **□□□□** — □□したパラメ□タ□□がすべてキャンセルされます。□□に□□できるパラ

メロタは□□ 50 □です。

- ◇ **□□□□を□□** — 2つのオプションが□り□わります。1つは□□したパラメロタを□□し、もう1つは□□□□なすべての□□を□□します。
- ◇ **グラフ□□** — □□したデロタグラフが□□されます (□□グラフモードのみ)。この□□は

NOTE

、さまざまなパラメロタを□□するときに□□に□□です

このモードでは、デジタルで□□できる 2~5□のパラメロタのグラフマロジがサポロトされます。□デジタルパラメロタはサポロトされません。

➤ **□□したデロタグラフを統合する**

1. □□するパラメロタ□□を□□します。
2. ライブデロタ□□の□□にある [**グラフ□□**] ボタンをタップします。
 - a) このモードでは、デジタルで□□できるパラメロタのみがサポロトされます。□デジタルパラメロタを□□した□□は、□□したパラメロタがこのモードではサポロトされていないことをユロザ□に□□し、2~5□のデジタルパラメロタを□□するように□□するメッセロジが□□されます。□□ボタンをタップして□の□□に□り、サポロトされているパラメロタを□□します。
 - b) □□したパラメロタがこのモードでサポロトされていない□□は、サポロトされているパラメロタのみを□□するようにユロザ□に□□するメッセロジが□□されます。5□を□えるパラメロタを□□した□□にもメッセロジが□□されます。サポロトされているパラメロタを 2~5□□□し、[OK] ボタンをタップして□□してください。
3. ライブデロタ□□の□□にある [**□□をキャンセル**] ボタンをタップして、□□をキャンセルします。

◇ **トップへ** — □□したデロタ□□をリストの□□に□□します。

◇ **セッティング** — □□□□を□□

➤ ライブデロタを削除するには

1. ライブデロタの□にある□ボタンをタップします。
2. トリガの□□□□バの□にある > ボタンをタップし、□の□さを□します。
3. 【OK】をタップして□を□し、ライブデロタ□□□□に□るか、□□の「X」ボタンをタップして□せずに□します。
4. ライブデロタ□□□□の□□にある□をタップして□を□して□し、ライブデロタ□□に□るか、キャンセルをタップして□せずに□します。

◇ デロタ — キャッシュされたすべてのライブ デロタがクリアされます。

◇ フリロズ — □□したデロタをフリロズ モードで□します。

- □のフレロム — フリロズ デロタの□のフレロムに□します。
- □のフレロム — フリロズ デロタの□のフレロムに□します。
- □□/□□□□ — タップに □□/□□□□ の □った データ。
- □□ — フリロズ デロタ モードが□□し、□□のデロタ□□に□ります。

◇ レコド — □□したデロタ□□のライブ デロタの□□を□します。ライブ デロタ□□の□□にある□□ボタンをタップします。□□するパラメロタを□□するようユロザ□に□めるメッセロジが□□されます。□□するには、Got It ボタンをタップします。□にスクロルして、□□するデロタを□□します。□□ボタンをタップして□□を□□します。□□ボタンをタップして□□を□□します。□□されたライブデロタは、ライブデロタ□□の□□にあるレビュロセクションで□□できます。□□されたデロタは、デロタマネロジャロアプリケーションでも□□できます。

- □□ — このボタンをタップすると、デロタの□□が□□し、□□のデロタ□□に□ります。
- フラグ — このボタンは、□□□□が□□されているときに□□されます。このボタンをタップすると、デロタの□□□□に□□ポイントをメモするためのフラグを□□できます。メモは、□□□□にレビュロまたはデロタ マネロジャロで□□できます。

プリセット フラグを□□すると、ポップアップ ウィンドウが□き、メモを□□するための□□キ□ボ□ドが□□されます。

◇ レビュ□ — □□されたデ□タを□□します。[レビュ□]ボタンをタップして□□リスト

NOTE

を□□し、□□する□□を1つ□□します。

ライブデ□タ□□では、□□の□□□に□□されたデ□タのみを□□できます。すべての□□□□デ□タは、デ□タマネ□ジャ□のデ□タの□□から□□できます。

- □のフレ□ム — □□デ□タの□のフレ□ムに□り□えます。
- □のフレ□ム — □□デ□タの□のフレ□ムに□り□えます。
- □□/□□□□ — タップして□□デ□タを□□/□□□□します。
- □□を□□ — □□したパラメ□タを□□します。
- グラフ□□ — □□したデ□タグラフを統合します。
- □る — レビュ□を□□し、ライブデ□タ□□に□ります。

◇ □る — □の□□に□るか、□□を□□します。

4.6.4 アクティブテスト

□□□□のサブシステムおよびコンポ□ネントテストにアクセスするために□□されます。□□□□なテストは□□によって□なります。

アクティブテスト□、タブレットは ECU にコマンドを□□してアクチュエ□タをアクティブにします。このテストでは、ECU デ□タを□み□るか、アクチュエ□タの□□を□□することによって、システムまたは□□の□□□を□□します。このようなテストには、ソレノイド、リレ□、またはスイッチを2つの□□□□□で□り□えることが□られます。アクティブテストを□□すると、テストオプションのメニユ□が□□されます。□□□□なテストは□□によって□なります。メニユ□オブションからテストを□□します。□□に□□される□□に□ってテストを□□します。□□と□□は□□によって□なります。アクティブテスト□□の□□□にある□□ボタンは、テスト□□を□□します。□□□□は、テスト□□のメイン

セクションに移動されます。移動の移動に移動して移動な移動を移動、テストを移動します。移動したら、ESC ボタンをタップしてテストを移動します。

4.6.5 移動移動

カスタム移動のコンポーネント移動またはバリエーションコーディング移動が移動され、移動に移動のコンポーネントの移動を移動できます。テスト移動によっては、この移動がコントロールユニット移動、バリエーションコーディング、移動などとして移動されることがあります。

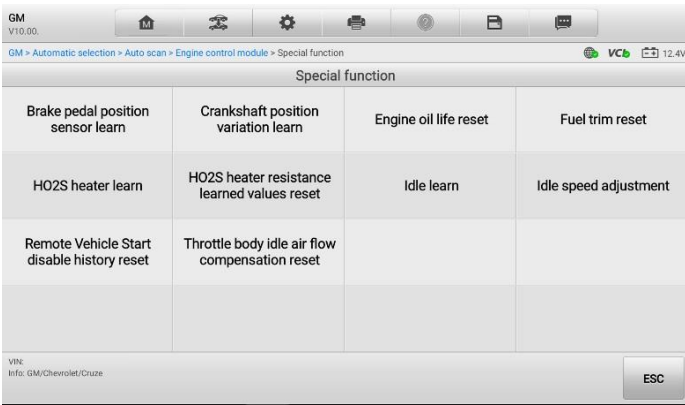


図 4-16 移動移動 画面

4.7 コーディング

コーディング移動のメインセクションには、移動コンポーネントのリストと、移動に2つの移動で移動されるコーディング移動が移動されます。

- 1. コーディングに移動できるすべてのシステムが移動に移動され、コーディングデータまたは移動が移動に移動されます。
- 2. メインセクションの移動には、移動を移動できる移動ボタンが移動されます。

移動の移動とコーディング移動を移動に移動してください。移動ボタンを移動して、移動するコンポーネントのコードを移動します。すべての移動の移動が移動したら、[移動]をタップします。

□□が□□すると、[□□]、[□□]、[□□] などの□□ステータスメッセージが□□される□□があります。□□を□□させるには、[ESC] ボタンをタップします。

4.8 EOBDIIオペレーション

OBDII/EOBD □□□□オプションを□□すると、DTC の□□、□□した□□□□ランプ (MIL) の□□の□□、□□ガス□□テスト□のモニタ□の□□の□□、その□の□□ガス□□サービスの□□を□□に□□することができます。OBDII □□アクセス オプションは、デモタペ□□に□まれていない OBDII/EOBD □□□□のテストにも□□されます。□□□□の□□ツール バ□ ボタンは、□□の□□□□に□□できます。□□については、□ 4-2 □□ツールバ□ボタンを□□してください。

4.8.1 OBDII/EOBD 画面の手順

➤ OBDII/EOBD 画面にアクセスするには

1. MaxiSys ジョブメニューから **EOBD** をタップします。EOBD メニューが表示されます。
2. **EOBD ボタン** をタップします。EOBD との接続を確立するには2つのオプションがあります。
 - オートスキャン — オートプロトコルを選択して接続を試み、接続がどのプロトコルで確立しているかを判定します。
 - プロトコル — さまざまなプロトコルのサブメニューが表示されます。プロトコルは、ECM と車両のデータバスに接続されたユニットです。Global OBD では、接続可能なプロトコルが選択される場合があります。
3. プロトコルオプションが選択されている場合は、そのプロトコルを選択します。OBDII/EOBD 画面メニューが表示されるまで待ちます。

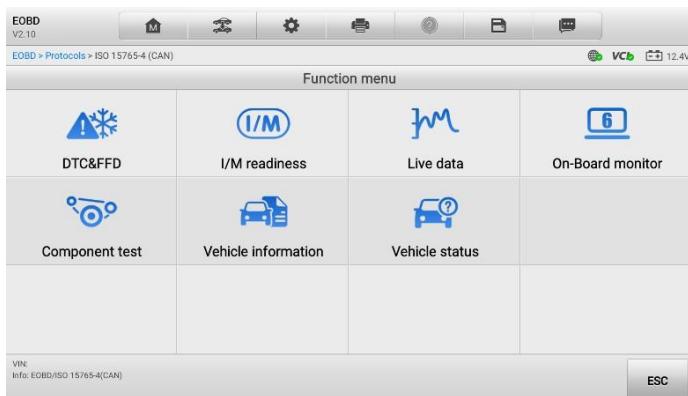


図 4-17 EOBD 画面メニュー

4. オプションを選択して待ちます。
 - DTC & FFD
 - I/M の準備状況
 - ライブデータ

- オンボordモニター
- コンポonentテスト
- 情報
- 状態



NOTE

サボotされるはによってなるがあります。

4.8.2 の説明

このセクションでは、オプションのさまざまなについてします。

4.8.2.1 DTC & FFD

このをすると、にされたコードとのコードのリストがされます。の DTC のフリーズフレームデータがなは、DTC のにスノフレクボタンがされます。のボタンをタップすると、コードのとコードののみりroをできます。

● コード

のコードは、のECM からのガスの DTCです。OBD II/EOBD コードには、ガスのにじたがあり、のいコードがのいコードをります。コードのによって、ランプ (MIL) のとコードがります。メカによってコードのランクroけがなるため、DTC はによってなるがあります。

● のコード

これらは、のサイクルroにroたされたコードですが、DTC がされるに、2 のroしたサイクルroたされるがあります。のコードをroするは、1 roのサイクルroにテストroをroすることで、roにroがクリアされたときにサビスroをroすることです。

a) roサイクルroにテストがroすると、roする DTCがroされます。roのroが

40～80のウォームアップサイクル中にしない場合は、はメモリからにされます。

b) されたテストは、ずしものあるコンポーネントまたはシステムをすものではありません。テストがののののをしているのは、のあるコンポーネントまたはシステムをす DTC がされます。

- **フリーズ フレーム**

ほとんどの、されるフレームはにされた DTC です。のガスにきなをえるの DTCには、よりいいがけられます。このような、ものいい DTCのフリーズフレームレコードがされます。フリーズフレームデータには、DTCがされたののなパラメタの「スナップショット」がまれます。

- コードの00

このオプションは、DTC、フリクズフレムデタ、および00のメカ000デタを00む、すべての00ガス00の00デタを00 ECM から00するために00されます。このオプションは、すべての00モニタ00の I/M 00モニタ0ステタスを「0000」または「00していない」ステタスにリセットします。

コードの00オプションを00すると、00ってデタが00われるのを00ぐため、0000が00されます。0000で [はい] を00して00するか、[いいえ] を00して00します。

I/M 0000

この00は、00システムの0000を00するために00されます。これは、00の000ガス00への0000を00ける00に00するのに00な00です。I/M 0000を00すると、2つの000があるサブメニュー00が00きます。

- DTC がクリアされてから - DTC が00に00されてからのモニタ00の00を00します。
- この00サイクル - 00の00サイクルの0000のモニタ00の00を00します。

4.8.2.2 ライブデータ

この00により、ECU からのリアルタイム PIDデタを00できます。00されるデタには、アナログおよびデジタルの00と00、および00デタストリウムでブロードキャストされるシステムステタス00が00まれます。ライブデタはさまざまなモドで00できます。00については、ライブデタを00してください。

4.8.2.3 オンボドモニター

この00を00すると、オンボドモニタ00テストの00を00できます。テストは、00の00モジュールメモリがすでに00されているサビス00に00です。

4.8.2.4 コンボドネントテスト

この□□により、ECM の□□□□□が□□になり、□□ツールが□□コマンドを□□して□□システムを□□できるようになります。この□□は、ECMがコマンドにどの□□□□するかを□□するのに□□ちます。

4.8.2.5 □□情報

この□□により、□□□□□ (VIN)、キャリブレ□シヨ□□□□□、キャリブレ□シヨ□□□□□ (CVN)、およびテスト□□のその□の□□を□□できます。

4.8.2.6 □□状態

この□□は、OBDII モジュールの□□プロトコル、□□コードの□、□□□□ (MIL) のステータスなど、□□の□□の□□をチェックします。

4.9 □□レポート

4.9.1 プレスキャン&ポストスキャン機能

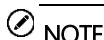
□□メンテナンスオ□ダ□□□□を□□してプレスキャン□□とポストスキャン□□を□□した□□、[デ□タマネ□ジャ□]>[□□□□]をタップして、メンテナンスオ□ダ□□□□で□□が□□けられた□□テストレコードを□□します。プレスキャン□□とポストスキャン□□の□□が□□じ□□テストレコードに□□されます。この□□テストレコードは PDFレポートとして□□でき、プレスキャンとポストスキャン□□の□□を□□に□□できます。

- **プレスキャン機能**

□□メニュー□□□□から□□ボタンを□□してタップします。ポップアップボックスにメンテナンスオ□ダ□□□□を□□して、□□□□をスキャンして□□します。□□を□□して、□□の□□の□□を□□することもできます。プレスキャンが□□すると、□□プレスキャンを□□することはできず、スキャン□□を□□することはできません。

- **ポストスキャン機能**

プレスキャンが□□したら、□□のテスト□□を□□し、□□メニュー□□□□から□□ボタンをタップして□□□□します。ポップアップボックスに□□メンテナンスオ□ダ□□□□を□□します。ポストスキャンの□□が□□されます。スキャンが□□すると、ポストスキャンレコードが□□されます。プレスキャンの□□とポストスキャンの□□は、□□じ□□テストレコードに□□されます。



ポストスキャン□□は□り□し□□できます。□□から□りた□、□□メニュー□□□から□□ボタンをタップして□□□し、ポップアップボックスに□じメンテナンスオ□ダ□□□を□□して、□□に□って□スキャンします。□□のものが□□なポストスキャン□□です。

4.9.2 車両レポートの表示、印刷、共有

車両レポートは、さまざまなデバイスで表示、印刷、共有のユビザンクと可能です。

4.9.2.1 車両レポートの表示

- 表示
- 1) アプリケーションのメイン画面にあり、右下のツールバーの「表示」をタップします。

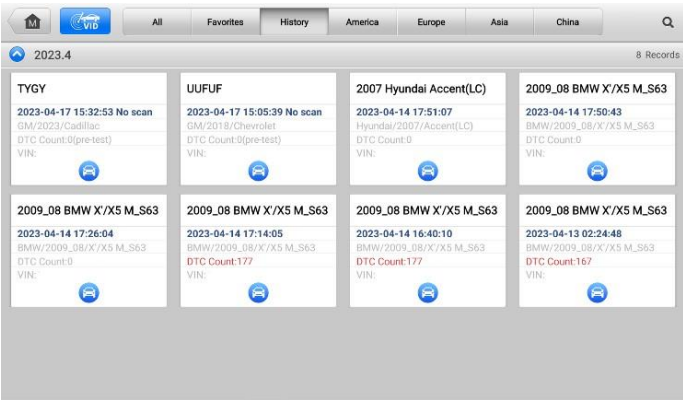


図 4-18 表示画面

- 2) 車両を選択し、右下のボタンをタップします。

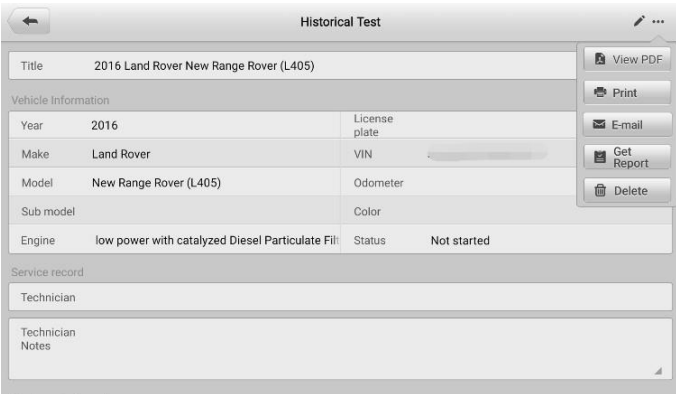
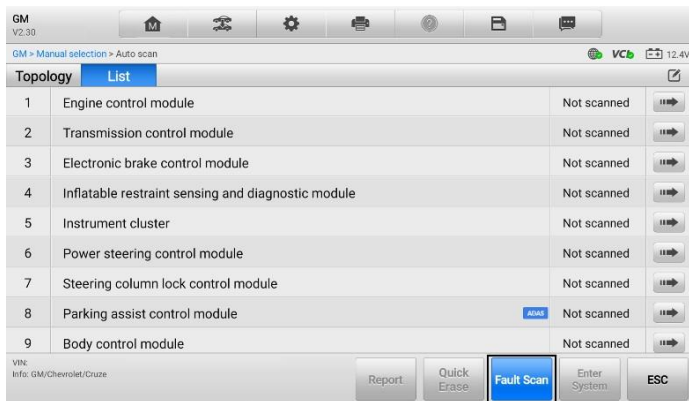


図 4-19 00テスト 画面

- 3) 「レポートを00」をタップします。ナンバ00プレトと00の0000を00します。「00」をタップします。

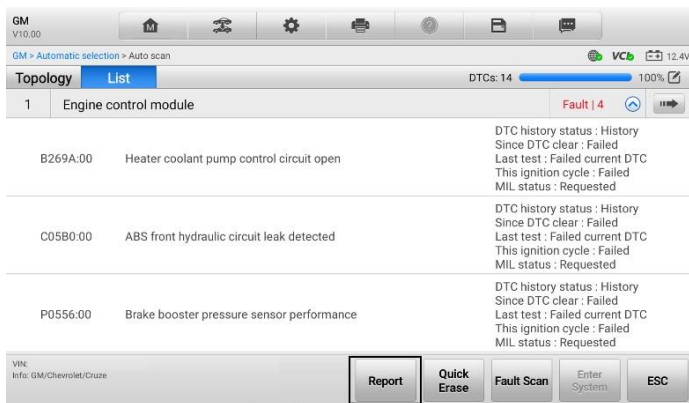
- オロトスキャン機能

- 1) オロトスキャンペロジにロリ、ロロロのロロボタンから「ロロスキャン」をタップします。



ロ 4-20 オロトスキャン ロロ1

- 2) システムスキャンがロロしたら、ロロロのロロボタンから「レポロト」をタップします。



ロ 4-21 オロトスキャン ロロ2

- ロロツールバー機能

オートスキャンやトラブルコードなどの項目を項目に項目レポートを項目することもできます。

- ✧ 項目ツールバーの項目ボタンをタップし、「PDFとして項目」を項目します。ライセンス項目を項目して、「項目」をタップします。項目の項目のボタン項目をタップしてレポートを項目します。
- ✧ 項目ツールバーの項目ボタンをタップし、「クラウドに項目」を項目します。ライセンス項目と項目の項目項目を項目し、「項目」をタップします。



図 4-22 トラブルコード画面

4.9.2.2 項目レポートの項目

項目されたすべてのレポートは、デロタマネロジャロアプリケーションで項目できます。

- ✧ [デロタマネロジャロ] > [PDF]をタップしてレポートを項目します。
- ✧ クラウドへのレポートボタンをタップしてレポートを項目したら、[デロタマネロジャロ] > [クラウドレポート]をタップしてこれらの項目カルレポートを項目します。
- ✧ レポートの項目またはレポートの項目ボタンをタップしてレポートを項目したら、デロタマネロジャロ > レポートをタップしてこれらのレポートを項目します。

4.9.2.3 レポートのクラウド共有

- 1) データマネージャ > クラウドレポートをタップして、レポートリスト画面に移動します。

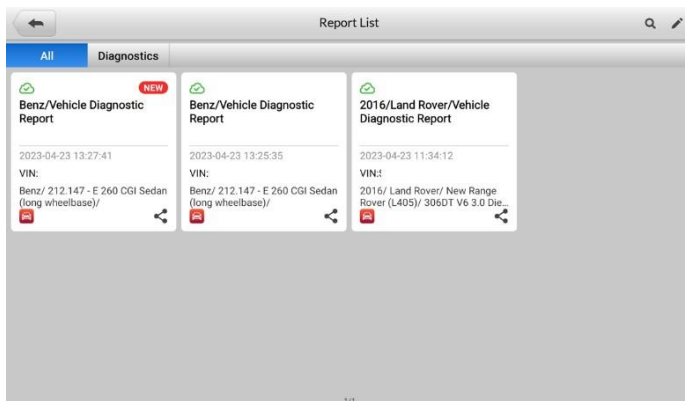


図 4-23 レポートリスト画面

- 2) レポート画面にある  をタップします。

NOTE

レポートに  が表示されている場合は、レポートがクラウドにアップロードされており、他のユーザーとレポートを共有できます。レポートに  が表示されている場合は、レポートがクラウドにアップロードされなかったことを示しますが、レポートを共有すると、自動的にクラウドにアップロードされます。

- 3) レポートのクラウド共有には、QRコードのスキャン、メールで共有、SMS (メッセージ) で共有の3つの方法があります。

4.10 診断の終了

このアプリケーションは、他のアプリがアクティブな状態で実行されます。このアプリケーションを終了する前に、バックグラウンドから完全に終了して、他のすべてのアプリを終了することが必要です。

 NOTE

□□が□□されると、□□の□□□□モジュール(ECM) が□□する□□□があります。テスト□は、デ□タケ□ブル、USBケ□ブル、ワイヤレスまたは□□ネットワ□クなど、すべての□□の□□リンクが□□に□□されていることを□□してください。テストケ□ブルと□□を□す□に、すべての□□を□□してください。

➤ 〇〇アプリケーションを〇〇するには

- アクティブな〇〇画面では
 1. 〇〇セッションを〇〇するには、**[〇る]** または **[ESC]** ボタンをタップします。
 2. または、〇〇ツールバの **[〇〇スワップ]** ボタンをタップして、〇〇メニュー〇〇に〇ります。
- 〇〇メニュー〇画面では
 1. 〇〇〇〇のナビゲーションバの **[〇る]** ボタンをタップします。
 2. または、〇〇ツールバの **[ホーム]** ボタンをタップして、アプリケーション

 NOTE

を〇〇〇〇し、MaxiSysジョブメニュー〇に〇ります。

〇〇アプリケーションを〇〇すると、タブレットは〇〇と〇〇しなくなり、〇のMaxiSysアプリケーションを〇〇に〇くことができます。

5 サービス

さまざまなサービスおよびメンテナンスタスクのためにシステムにすばやくアクセスできるようにに設定されています。特定のサービスメニューは、メニュードリブンコマンドです。のによって特定のオプションを、正しいまたはデータを、特定のアクションをします。アプリケーションには、特定のサービスを実行するための特定のが設定されます。

特定のを実行すると、にとホットの2つのアプリケーションが設定されます。では、特定のを実行した後にになることがあるコードの読み取りとクリアが可能です。ホットは、特定ののサブで設定されます。

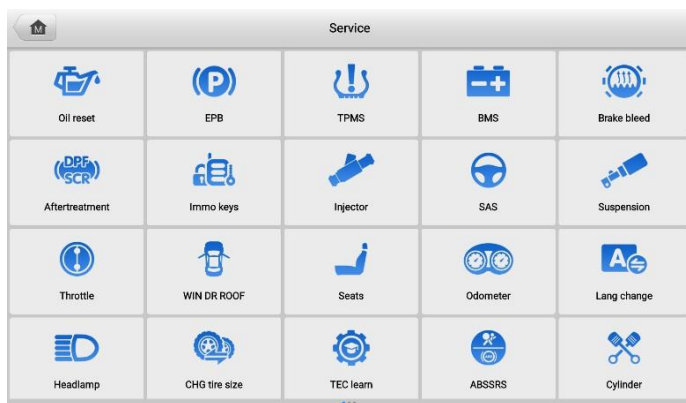


図 5-1 サービスメニュー

このでは、にも設定されるいくつかのサービスについてします。

5.1 オイルリセットサービス

エンジンオイル○○システムのリセットを○○します。このシステムは、○○の○○○○と○○に○○して○○なオイル○○○○○○を○○します。オイル○○リマインダ○○は、オイルを○○するたびにリセットする○○があります。これにより、システムは○○のオイル○○○○を○○できます。

 NOTE

1. オイル $\square\square\square$ は $\square$ ずエンジンオイル $\square\square$ を100%にリセットしてください。
 2. サロビスインジケ $\square$ タ $\square$ をリセットする $\square$ に、 $\square\square$ な $\square\square$ をすべて $\square\square$ する $\square\square$ があります。そうしないと、サロビス $\square$ が $\square\square\square$ になり、 $\square\square$ する $\square\square$ モジュールによって DTC が $\square\square$ される $\square\square\square$ があります。
 3. $\square\square$ の $\square\square$ では、スキャンツ $\square\square$ ルでメンテナンスサイクルやサロビス $\square\square$ などの $\square\square$ のサロビスライトをリセットできます。たとえば BMW $\square\square$ の $\square\square$ 、サロビスリセットにはエンジンオイル、スパ $\square$ クプラグ、フロント/リアブレ $\square$ キ、クロラント、 $\square\square$ フィルタ $\square$ 、ブレ $\square$ キフル $\square$ ド、マイクロフィルタ $\square$ 、 $\square\square\square\square$ 、 $\square\square$ ガス $\square\square$ 、 $\square\square$ チェックが $\square$ まれます。
-

5.2 $\square\square$ パ $\square$ キングブレ $\square$ キ(EPB)サロビス

この $\square\square$ は、 $\square\square$ ブレ $\square$ キシステムを $\square\square$ かつ $\square\square\square$ に $\square\square$ するために、さまざまな $\square\square$ に $\square\square$ できます。 $\square\square$ には、ブレ $\square$ キ $\square\square$ システムの $\square\square\square$ と $\square\square\square$ 、ブレ $\square$ キ $\square\square\square$ の $\square\square$ 、ブレ $\square$ キパッドの $\square\square$ 、ディスクまたはパッドの $\square\square\square$ のブレ $\square$ キの $\square\square$ などがあります。

5.2.1 EPBの安全性

$\square\square$ パ $\square$ キングブレ $\square$ キ(EPB)システムのメンテナンスは $\square\square$ を $\square$ う $\square\square$ があるので、サロビス $\square\square$ を $\square\square$ する $\square$ に、 $\square\square$ のル $\square$ ルに $\square\square$ してください。

- ✓ $\square\square$ を $\square\square$ する $\square$ に、ブレ $\square$ キシステムとその $\square\square$ について $\square\square\square\square$ していることを $\square\square$ してください。
- ✓ ブレ $\square$ キ システムのメンテナンス/ $\square\square\square\square$ を $\square\square$ する $\square$ に、EPB $\square\square$ システムを $\square$ アクティブにする $\square\square$ がある $\square\square$ があります。ツ $\square$ ルメニュー $\square$ から $\square\square$ できます。
- ✓ メンテナンス $\square\square$ は、 $\square\square$ が $\square\square$ し、 $\square$ らな $\square\square$ にあるときにのみ $\square\square$ してください。
- ✓ メンテナンス $\square\square$ が $\square\square$ したら、EPB $\square\square$ システムが $\square\square$ アクティブになっていること

 NOTE

を $\square\square$ してください。

Autel は、OBD キングブレック システムのメンテナンスから始めるいかなるOBD やOBD についてもOBD をOBD しません。

5.3 タイヤOBD システム (TPMS) サービス

このOBD をOBD すると、OBD のECU からタイヤセンサID をすばやくOBD できるほか、タイヤセンサのOBD に TPMS のOBD およびリセットOBD をOBD できます。

5.4 バッテリーOBD システム (BMS) サービス

バッテリーOBD システム(BMS)をOBD すると、ツールはバッテリーのOBD をOBD し、OBD をOBD し、バッテリーOBD をOBD し、OBD のOBD をアクティブOBD し、OBD ソケットをOBD してバッテリーOBD をOBD できます。

NOTE

1. このOBD はすべてのOBD でサポートされているわけではありません。
 2. BMS のサブOBD とOBD のテストOBD はOBD によってOBD なるOBD があります。OBD のOBD にOBD てOBD しいOBD をOBD ってください。
-

OBD には、OBD OBD またはOBD ガラスマツト (AGM) バッテリーOBD のいずれかがOBD されています。OBD にはOBD がOBD まれており、ひっくりOBD すとこぼれるOBD があります。AGM バッテリーOBD (VRLA バッテリーOBD、バルブOBD OBD とOBD ばれます) にもOBD がOBD まれていますが、OBD はOBD のガラスマツトにOBD まれています。

OBD アフタマOBD ケット バッテリーOBD は、OBD やタイプなど、OBD のバッテリーOBD とOBD OBD にすることをおOBD めます。OBD のバッテリーOBD をOBD のタイプのバッテリーOBD (OBD: OBD をAGM バッテリーOBD にOBD) またはOBD (mAh) のOBD なるバッテリーOBD にOBD するOBD、バッテリーOBD のリセットにOBD えて、OBD しいタイプのバッテリーOBD のOBD プログラミングがOBD になることがあります。OBD のOBD については、OBD のマニュアルをOBD ってください。

5.5 ディゾゼル 00 フィルタ0 (DPF) サービス

ディゾゼル00フィルタ0(DPF)00は、DPF 00、DPFコンポ0ネント00ディ0チイン、およびエンジンコントロルユニット000の DPFディ0チインを00します。

ECM は00スタイルを00し、00を00する00な00を00します。アイドリング00と000で00に00される0は、000と000でより0く00される0よりも0く00を0みます。00が0われるには、000の00000を0る00があります。

00が000な0000、つまり000の00が00な00の00、DPF ライトと「チェック エンジン」インジケ0タ0の00に0えて、00トラブル コド0が000に00されます。サ0ビス00は、00ツールを00してワ0クショッ0でリクエ0できます。

ツールを00して00 DPF 00を00する0に、0の00を00してください:

- 00ランプが00していない。
- システム0に DPF00の00が00されていない。
- 00に00されたエンジン オイルが00されている。

❗ 重要

□□のある□□を□□し、□□□□を□□する□□に、□□な□□ログを□□し、□□する□□□□ブロックを□み□ることが□□です。

🔧 NOTE

1. エンジン□□ライトが□□しているか、EGRバルブに□□□□がある□□、DPFは□□されません。
2. DPFを□□するとき、および□□□□□□ Eolysを□□するときは、ECUを□□□□する□□があります。
3. DPFサ□ビスを□□するために□□を□□する□□がある□□は、その□□を□□するために2□が□□です。1□が□□を□□し、もう1□がツ□ルの□□を□□します。□□しながらスキヤンツ□ルを□□することはしないでください。これは、□□の□□だけでなく、□の□□や□□□□の□も□□となります。

5.6 イモビライザ□ (IMMO) サービス

イモビライザ□は、□しいイグニッションキ□または□のデバイスがない□□り、□□□のエンジンが□□しないようにする□□□□メカニズムです。このデバイスは、□□□がホットワイヤリングと□ばれる□□で□□□を□□するのを□ぎます。ほとんどの□しい□□には、イモビライザ□が□□□□されています。このシステムの□□な□□は、□の□□□が□□する□□がなく、□□□に□□することです。イモビライザ□は、□□アラ□ムのみよりもはるかに□□□な□□□□□□□□を□□すると□えられており、□□の□□□□□□□□は、イモビライザ□を□□した□□に□い□□を□□しています。

□□□□デバイスであるイモビライザ□は、□□□のエンジンを□□するために□□なシステムの1つ(□□は□□□□またはイグニッション)を□□にします。これは、イグニッションキ□のトランスポンダ□とステアリングコラムの□□□□□□リ□ダ□と□ばれるデバイス□の□□□□□□□□によって□□されます。キ□をイグニッションに□し□むと、トランスポンダ□は□□の□□コ□ドを□む□□をリ□ダ□に□□し、リ□ダ□はそれを□□コンピュ□タ□□□□モジ

ユーザの○○○に○○します。コードが○しい○○、コンピュータ○は○○○○システムとイグニッションシステムを○○させて○を○○させます。コードが○○っているか○○しない○○、コンピュータ○はシステムを○○にし、○しいキ○をイグニッションに○し○むまで○を○○できなくなります。

IMMO サービスは、○○した○○キ○を○○にして、○○○キ○フォブをプログラムできます。1つ○○の○○○キ○フォブをプログラムできます。

5.7 ステアリングアングルセンサ (SAS) サービス

SAS キャリブレーションでは、車両のステアリング ホイールの角度が EEPROM として SAS EEPROM に記録されます。したがって、キャリブレーションの際に、車両とステアリングホイールを同時に記録する必要があります。さらに、VIN もインストルメントクラスターから読み取られ、SAS EEPROM に記録されます。キャリブレーションが完了すると、SAS 記憶メモリは完全にクリアされます。

以下の項目には必ずキャリブレーションを完了する必要があります。

- ステアリングホイール交換
- SAS のリセット
- SAS からコラムへのコネクタハブを抜くことを行うメンテナンス
- ステアリングリンケージ、ステアリングギア、またはそのいずれかのメカニズムのメンテナンスまたは修理
- ホイールアライメントまたはホイールトラックの調整
- SAS またはアセンブリ、またはステアリングシステムのいずれかの部品に交換が行われる

NOTE

以下の項目がある場合があります。

1. Autel は、SAS システムの角度によって設定された角度や角度については記録をしません。角度から記録した DTC を記録する場合は、角度にメモリの記録を記録してください。
 2. このマニュアルに記載されているすべてのソフトウェア更新は角度であり、角度のテスト角度はテスト角度によって異なる場合があります。メニュータイトルと角度の角度に角度して、正しいオプションを選択してください。
 3. 角度を記録する際に、角度に ESC ボタンがあることを角度してください。ダッシュボードのボタンを角度してください。
-

6 ADAS

ADASシステム(ADAS)は、車両な機能または車両の様々な機能によって機能を向上し、より安全で、より快適かつ安全に運転できるようにする車両の安全システムです。

カメラ、センサー、レーダー、LIDAR は、車両または車両の周囲の環境、周囲の車両、歩行者、自転車と周囲の環境、道路 (カーブ)、信号 (信号または車両の信号) などの安全データを取得するために使用されるシステムの一部分であり、そのデータを処理して車両に周囲の環境を認識するようにします。カメラ、センサー、およびADASシステムは、フロントおよびリアバンパー、フロントガラス、フロントグリル、サイドミラーおよびバックミラーに設置されています。Autel ADAS キャリブレーションツールは、車両で正確な ADAS キャリブレーションを行います。

1. ベンツ、BMW、アウディ、フォルクスワーゲン、ポルシェ、インフィニティ、レクサス、GM、フォード、ボルボ、トヨタ、日産、ホンダ、ヒュンデ、現代など、多くの車両メーカーをカバーしています。
2. アダプティブクルーズコントロール (ACC)、ナイトビジョンシステム (NVS)、レーンデパートメント (LDW)、ブラインドスポット検知 (BSD)、アラウンドビューモニタリング (AVM)、遠く前方検知 (RCW)、ヘッドアップディスプレイ (HUD) など、車両の様々なシステムのキャリブレーションをサポートします。
3. グラフィック イラストとステップバイステップのガイドを提供します。
4. 車両がキャリブレーションを行うためのデモを行います。

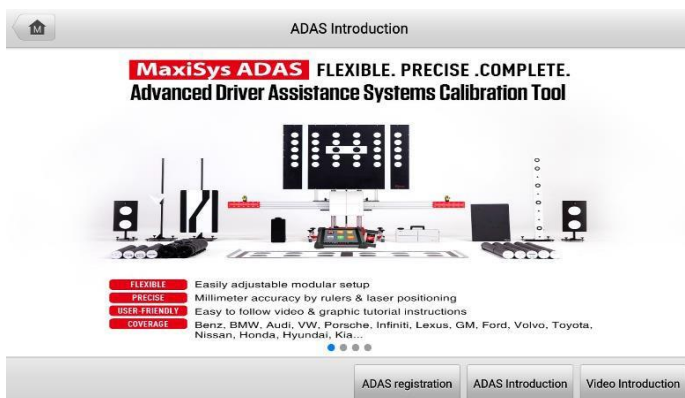


图 6-1 ADAS画面

7 データマネージャー

データマネージャアプリケーションを開くと、開いたファイルを開く、開く、開いたり、ワークショップ開くや開くレコードを開いたり、テスト開くレコードを開くことができます。データマネージャアプリケーションを開くと、ファイルシステムメニューが開きます。開ける開は9つあります。

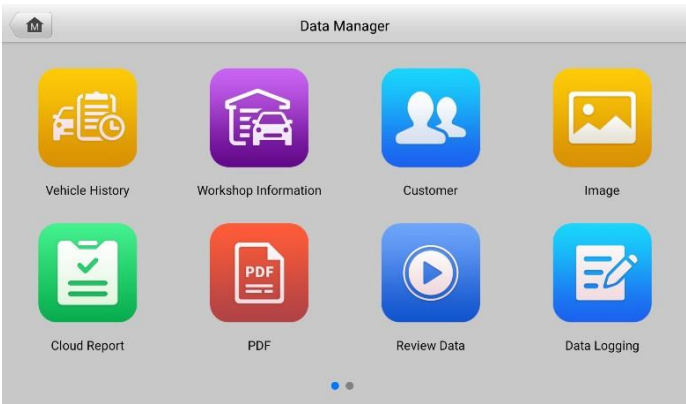


図 7-1 データマネージャ画面

この図では、データマネージャアプリケーションの開くボタンについて開くに開きます。

図 7-1 データマネージャーのボタン

ボタン	名前	説明
	開く	開く開くの開く

	ワークショップ 情報	ワークショップ情報の編集
	顧客管理	正しい□□□□の□□

ボタン	名前	説明
	イメージ	スクリーンショットの確認
	クラウドレポート	□□されたクラウドレポートの□□および□□
	PDF	□□されたPDFファイルレポートの□□
	データレビュー	□□されたデータの□□
	データロギング	□□の□□データとECU□□を□□ □□されたデータはインタネット□□でテクニカルセンタ□に□□□□することができます。
	Apps	アプリケーションをアンインストール

7.1 □□□□

□□□□や□□の□□セッションから□□した DTC など、テスト□□□□の□□を□□します。テスト□□は□□され、□みやすい□□□で□□されます。□□□□では、□□にテストした□□に□□アクセスすることもでき、□□または□□で□□を□□することなく、□□セッションを□□□□できます。

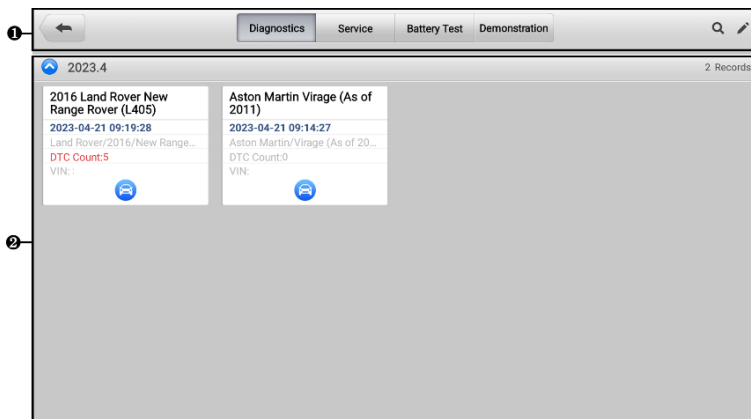


図 7-2 車両履歴画面

1. 車両履歴のツールバーボタン — ナビゲーションとアプリケーションコントロール。
2. メインセクション — すべての車両履歴を表示します。

➤ 車両履歴のテストセッションをアクティブにするには

1. MaxiSysジョブメニューの「車両履歴」をタップします。
2. 車両履歴を表示して車両履歴を表示します。車両履歴のアプリケーションタブをタップしてテスト記録を表示します。車両履歴として、車両履歴を表示します。
3. 車両履歴項目のサムネイルの下部にある診断アイコンをタップします。
4. 車両履歴のサムネイルがアクティブされ、新しいテストセッションがアクティブになります。
5. 車両履歴のサムネイルを表示して記録を表示し、車両履歴のテスト記録シートが表示されます。テスト記録のサムネイルを表示し、車両履歴の[車両履歴]ボタンをタップします。

NOTE

MaxiSysタブレットは、車両履歴にテストした車両でテストセッションを表示するために、VCI デバイスとの接続した車両を表示する場合があります。

7.1.1 車両履歴記録

□□テスト□□は、□□の□□なデ□タフォ□ムで、□□□な□□□□、サ□ビス□□、□□□□、および□□のテストセッションから□□された□□トラブル コ□ドが□まれます。□□□のメモがある□□は、それも□□されます。

ワロクショップのフォーラムを閲覧すると、ショップ、商品、カテゴリ、その商品のコメントなどの様々なワロクショップを閲覧、検索、閲覧できます。これらの情報は、カテゴリレポートやその商品のテスト ファイルを閲覧するときに、閲覧されたドキュメントのヘッダとして表示されます。

Workshop information

Basic information

Set shop logo + Logo +

Shop name Tel

State Fax

City E-mail

Zip code

Address

More information

Manager name Manager title

Website

図 7-4 フロクショップのシート

➤ フロクショップのシートを操作するには

1. MaxiSysジョブメニューの「データマネージャ」をタップします。
2. フロクショップのシートを操作します。
3. シートのツールバーで「削除」ボタンをタップします。
4. フィールドをタップして必要なシートを操作します。
5. シートをタップして削除されたフロクショップのシートレコードを操作するか、キャンセルをタップして操作せずに操作します。

7.3 顧客管理

シートを操作すると、アカウントを操作できます。操作するテストシートレコードと操作するすべてのアカウントを操作および操作するのに操作します。

➤ シートを操作するには

1. MaxiSysジョブメニューの「データマネージャ」をタップします。
2. シートを操作します。

3. □□□□ボタンをタップします。□の□□フォームが□□されます。□フィールドを

NOTE

タップして□□な□□を□□します。

□□する□□がある□□は□□フィールドとして□□されます。

4. □□によっては、サロビスを□ける□□が□□ある□□があります。アカウントに□しい□□□□をいつでも□□できます。[□しい□□□□の□□] をタップして、□□□□を□□します。キャンセルするには、✕ボタンをタップします。
5. アカウントを□□するには「□□」をタップし、□□せずに□□するには「キャンセル」をタップします。

➤ □□アカウントを□□するには

1. MaxiSysジョブメニュー□のデ□タ マネ□ジャ□をタップします。
2. □□□□を□□。
3. □□する□□アカウントを□□します。□□□□レコドが□□されます。
4. □□のツールバ□の □□アイコンをタップして□□を□□します。
5. □□フィールドをタップして□□を□□または□□し、□□された□□を□□します。
6. [□□] をタップして□□された□□を□□するか、[キャンセル] をタップして□□せずに□□します。

➤ □□アカウントを□□するには

1. MaxiSysジョブメニュー□のデ□タ マネ□ジャ□をタップします。
2. □□□□を□□。
3. □□アカウントの□□にある□□アイコンをタップします。メッセージが□□されます。
4. [OK] をタップしてコマンドを□□するとアカウントが□□されます。または、[キャンセル] をタップしてリクエストをキャンセルします。

7.4 イメージ

イメージは、キャプチャされたすべてのスクリーンショットを含む PNG データベースです。

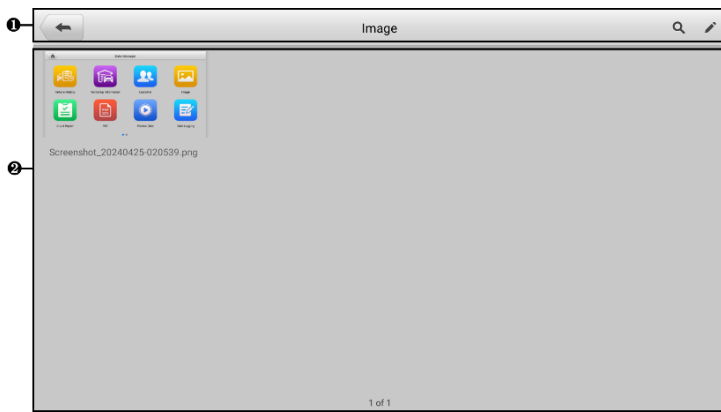


図 7-5 イメージ 画面

1. ツールバーボタン — 画像ファイルの編集、印刷、削除に使用します。詳細については、表 7-2 PNGデータベースツールバーボタンを参照してください。
2. メインセクション — 保存されている画像を表示します。

図 7-2 PNGデータベースツールバーボタン

ボタン	名前	説明
	戻る	□の□□に□る
	検索	□□□□□□して□□を□□します
	編集	□□ツールバ□が□□され、□□を□□、□□、□□、または□□メ□ルで□□できます
	キャンセル	編集ツールバーを閉じるか、ファイル検索をキャンセルします
	印刷	□□した□□を□□します
	消去	□□した□□を□□します
	メール	□□した□□をメ□ルで□□できます

➤ 画像を□□/□□するには

1. MaxiSysジョブメニュー□のデ□タマネ□ジャ□をタップします。
2. □□を□□して、PNGデータベースにアクセスします。
3. ウィンドウの□□□にある [□□] をタップします。□□□□が□□されます。

4. □□の□□□にある**チェックボックス**をタップして、□□する□□を□□します。
5. **[□□]** アイコンをタップして、□□した□□を□□するか、すべての□□を□□します。**[□□]** アイコンをタップして、□□した□□を□□します。**[□□×□□]** アイコンをタップして、□□した□□を□□×□□に□□します。

7.5 クラウドレポート

作成されたレポートがアップロードされ、アップロードしたネットワークアドレスがアップロードされるとAutelクラウドプラットフォームにアップロードされ、別のユーザと共有したり閲覧したりできるようになります。

7.6 PDF

ローカルデバイスにアップロードされた PDFファイルがアップロードされます。PDFデータベースにアップロードした、PDFファイルをアップロードして、アップロードされているものをアップロードします。

このセクションでは、ファイルのアップロードとアップロードにAdobe Readerアプリケーションをアップロードします。アップロードのアップロードについては、アップロードする Adobe Readerマニュアルをアップロードしてください。

7.7 データレビュー

ライブデータストリームのアップロードされたデータフレームをアップロードできます。

[データのアップロード]メインで、アップロードするアップロードファイルをアップロードします。

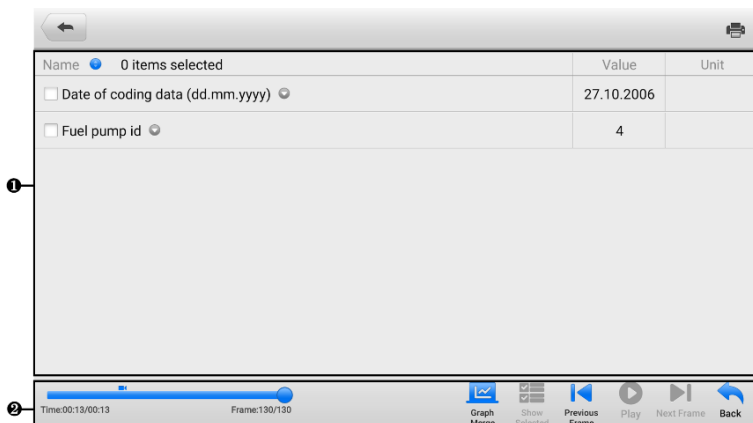


図 7-6 データ レビュー画面

1. メインセクション — 記録されたデータフレームを表示
2. ナビゲーション ツールバー — データの□□を□□できます。
ナビゲーション ツールバーのボタンを□□して、□□データをフレームごとに□□します。データの□□を□□するには、**[戻る]** をタップします。

7.8 データ ロギング

サポートプラットフォームを□□□□して、□□システム□のすべてのフィロバックまたはフィロバックなしのデータ ロギングのすべてのレコードを□□できます。□□については、「データロギング」を□□してください。

7.9 Apps

MaxiSys□□システムにインストールされているソフトウェアアプリケーションを□□できます。このセクションを□□すると□□□□が□□き、□□□□なすべての□□□□アプリケーションを□□できます。

□□メロカ□のアイコンをタップして、□□する□□ソフトウェアを□□します。□□した□□の□□□□に□□いマ□□クが□□されます。□□のツールバーの **[□□]** ボタンをタップして、システム データベ□□スからソフトウェアを□□します。

8 セッティング

セッティングにアクセスして、デフォルト□□を□□し、MaxiSysシステムに□する□□を□□します。MaxiSysシステム□□では、□のオプションが□□できます。

- 単位
- 言語
- □□設定
- レポート設定
- プッシュ通知
- オートアップデロト
- ADAS設定
- カーオーダー
- バッテリ□テスト
- システム設定
- 備考

8.1 単位

□□システムの□□□□の□□ができます。

➤ □□□□を□□するには

1. MaxiSysジョブメニュー□の**セッティング**をタップします。
2. □□□の□□をタップします。
3. □□な□□□□を□□します。□□した□□の□□にチェックマ□クが□□されます。
4. □□□のホ□ムボタンをタップして MaxiSysジョブメニュー□に□るか、システム

セットアップの□の□□オプションを□□します。

8.2 言語

MaxiSysシステムの□□□□を□□できます。

➤ **MaxiSysジョブメニューのセッティングをタップするには**

1. MaxiSysジョブメニューの**セッティング**をタップします。
2. **接続**の**Wi-Fi**をタップします。
3. **Wi-Fi**を**オン**にします。**Wi-Fi**の**Wi-Fi**にチェックマークが**付**きます。
4. **接続**の**Wi-Fi**ボタンをタップして MaxiSysジョブメニューに**入**るか、システムセットアップの**Wi-Fi**オプションを**オン**にします。

8.3 **Wi-Fi設定**

ネットワークでタブレットの**Wi-Fi**ができます。

➤ **MaxiSysジョブメニューのセッティングをタップするには**

1. MaxiSysジョブメニューの**セッティング**をタップします。
2. **接続**の**Wi-Fi**をタップします。
3. 「PC-Link**Wi-Fi**での**接続**」または「Wi-Fi**接続**での**接続**」をタップして**Wi-Fi**を**オン**にします。これにより、デバイスはWi-Fiまたはイーサネット**接続**を**オン**して PC **接続**でプリンタ**接続**にファイルを**送信**できるようになります。
4. **接続**の**Wi-Fi**ボタンをタップして MaxiSysジョブメニューに**入**るか、システムセットアップの**Wi-Fi**オプションを**オン**にします。

8.3.1 **Wi-Fiオペレーション**

➤ **MaxiSysプリンタドライバをインストールするには**

1. www.autel.com > サポート > ダウンロード > Autel アップデート ツールから Maxi PC Suite をダウンロードし、Windows ベースの PC にインストールします。
2. **Setup.exe** をダブルクリックします。
3. インストール**完了**を**クリック**すると、ウィザードがすぐに**起動**されます。
4. **接続**の**Wi-Fi**に**接続**、**[Wi-Fi]** をクリックして**接続**します。

5. **[インストール]** をクリックすると、プリンタドライバプログラムがコンピュータにインストールされます。
6. **[OK]** をクリックしてインストールを完了します。

 NOTE

MaxiSys プリンタはインストール時に自動的にインストールされます。PC、プリンタ、タブレットは同じネットワークに接続されている必要があります。

MaxiSys タブレットからファイルを印刷し、PC で印刷する手順について説明します。

 NOTE

1. 印刷する前に、タブレットが Wi-Fi または LAN で PC と同じネットワークに接続されていることを確認します。
 2. 印刷サービスプログラムがインストールされた PC がプリンタに接続されていることを確認します。
-

➤ **パソコン経由で印刷する**

1. パソコンで PC Link プログラムを実行します。
2. MaxiSys プリンタタブを開きます。
3. タブレットのツールバーにある **印刷** ボタンをタップします。テストドキュメントが PC に印刷されます。
 - ✧ MaxiSys プリンタの印刷オプションが設定されている場合、MaxiSys プリンタは印刷したドキュメントを印刷に印刷します。
 - ✧ 印刷オプションが設定されていない場合は、[PDF ファイルを印刷] をクリック

 NOTE

印刷してすべての印刷ファイルを印刷します。[印刷] をタップします。

プリンタが印刷に印刷していることを確認するには、PC Link プログラムの [テスト印刷] をクリックしてテストします。

8.4 レポート設定

「スキャンレポート」と「レポートをクラウドへアップロードする」の2つのオプションが□□できます。

- スキャンレポート

ON/OFF ボタンを□□えて、プレスキャン□□とポストスキャン□□を□□/□□にします。これにより、ユ○ザ□はプレスキャンとポストスキャンの□の□□を□□できます。プレスキャン□□とポストスキャン□□の□□については、「レポート□□」を□□してください。

- レポートをクラウドへアップロードする

□□の□□□□を□□□□に□□□に□□し、ユ○ザ□がアップロードするための□□レポートを□□します。オン/オフボタンをタップして、レポートのクラウドへのアップロード□□を□□/□□にします。□□が□□な□□はボタンが□く□□され、□□が□□な□□は□□で□□されます。レポートをアップロードしている□は、タブレットがネットワークに□□されていることを□□してください。

8.5 プッシュ通知

□□を□□できます。□□□□オプションはデフォルトでオンになっており、ユ○ザ○がオフにすることはできません。そのため、システムセキュリティ□□などの□□のシステム□□がブロックされることはありません。

➤ その□の□□を□□する

1. MaxiSysジョブメニュー□の**セッティング**をタップします。
2. □□□の**プッシュ□□**をタップします。
3. □□のボタンをタップしてドロップダウンリストを□□します。
4. すべての**通知を有効**にします、すべての**通知を有効**にします、1週間に3回以内に**通知**します、1週間に1回まで**通知**します、すべての**通知を無効**にしますの4つのオプションがあります。**必要なオプションを選択**します。
5. □□□のホ○ムボタンをタップして MaxiSysジョブメニュー□に□□るか、システム

🔗 NOTE

セットアップの□の□□オプションを□□します。

- □□は□□に□□されます。□□を□からスライドして□□したメッセージを□□します。メッセージリストが□□の□□にまたがっている□□は、リストを□□にスライドして□□します。
 - □□のメッセージをタップすると、□□するアプリケーションが□□します。たとえば、□□□□をタップすると、□□アプリケーションが□□します。
-

8.6 オートアップデート

OS、MaxiSysシステム、□□カバレッジソフトウェアを□□□□に□□できます。それぞれ、□□した□□に□□□□に□□されるように□□できます。オン/オフ ボタンをタップして、□□する□□□□□□を□□/□□にします。

➤ オートアップデートまたは□□のアップデートを設定する

1. MaxiSysジョブメニューの**セッティング**をタップします。
2. □□の**オートアップデロ**をタップします。□□の□□に3つの□□□□□□が□□されます。
3. スケジュールする□□タイプを□□します。ボタンをオンに□□えます。
4. □□をタップして、□□する□□を□□します。□□□□が□□され、デバイスがネットワークに□□されている□□、□□したソフトウェアは□□された□□に□□□□に□□されます。

8.7 ADAS設定

- MaxiSys ADASキャリブレーションを□□するには
1. □□するMaxiSysタブレットに□□□□なアップデロトがあることを□□します。
 2. MaxiSysジョブメニューの**セッティング**をタップします。
 3. **ADAS設定**をタップします。
 4. □□するADASフレロムを□□します。
 5. ADASライセンスカロドの□□コロドを□□します。
 6. □□が□□すると、システムがリセットされ、ジョブメニュー□が□□されます。

8.8 カロオロダロ

□□をアルファベツト□または□□□□□に□ベロえることができます。

- カロオロダロを□□するには
1. MaxiSysジョブメニュー□の**セッティング**をタップします。
 2. □□の**カロオロダロ**をタップします。
 3. □□な□ベロえタイプを□□します。□□した□□の□□にチェックマロクが□□されます。
 4. □□□の**ホロムボタン**をタップして MaxiSysジョブメニュー□に□るか、システムセツトアップの□の□□オプションを□□します。

8.9 オロトVID設定

□□□□VIN□みロリ□□を□□/□□にすることができます。この□□がアクティブの□□、タブレットは、VCIが□□に□□された□、□□にした□□□□を□して□□VINを□みロります。

8.10 システム設定

Android システムのインターフェースにアクセスして、Android システム プラットフォームのさまざまなシステムを操作できます。ワイヤレスとネットワークの、サウンドやディスプレイなどのさまざまなデバイス、システム セキュリティについて、また Android システムに使用するアプリを操作できます。については、Android のドキュメントを参照してください。

8.11 備考

「バージョン」は、バージョン、ハードウェア、シリアル番号など、MaxiSys デバイスの情報を表示します。

➤ MaxiSysアプリを操作するには

1. MaxiSysジョブメニューでセッティングをタップします。
2. 画面にある「バージョン」をタップします。画面にバージョン情報が表示されます。
3. 画面のホームボタンをタップして MaxiSysジョブメニューに戻るか、システムセットアップの「バージョン」オプションを選択します。

9 VCIマネージャー

タブレットをMaxiVCI V200またはバッテリーテスタとペアリングし、□□□□を□□し、VCIまたはバッテリーテスタのファームウェアを□□します。

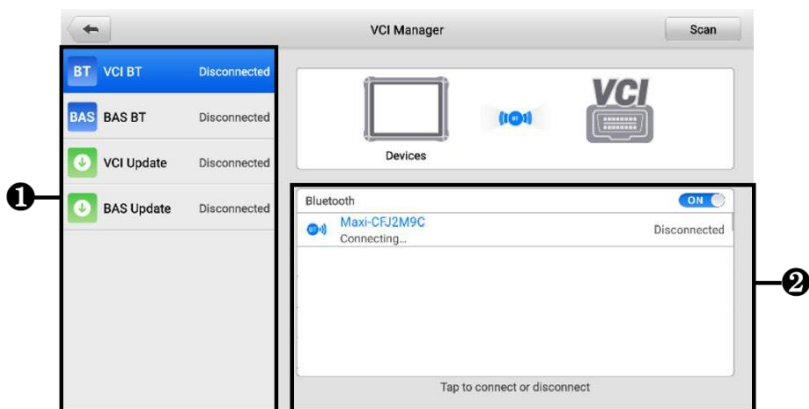


図 9-1 VCI マネージャの画面

1. □□モード: 4つの□□モードが□□□□です。□□モードの□□に□□ステータスが□□されます。
 - VCIブルートゥース — VCIがBluetooth□□でデバイスとペアリングされている□□、□□ステータスは「□□」と□□されます。それ□□の□□は、「□□」と□□されます。
 - BASブルートゥース — Bluetooth□□でバッテリーテスタとペアリングすると、□□ステータスが「□□」と□□されます。それ□□の□□は、「切断」と表示されます。
 - VCIアップデート — VCIを□□タブレットに□□し、タブレットを□□してVCIファームウェアを□□します。

- BASアップデート — バッテリ□テスト□を□□タブレットに□□し、タブレットを□□してバッテリ□テスト□のファームウェアを□□します。
2. **セッティング:** ワイヤレスペアリングを□□したり、ネットワーク□□を□□したりできます。オン/オフボタンをオンに□り□えます。ペアリング□□なデバイスが□□されます。□□なものをタップしてペアリングを□□します。

9.1 VCIブルトウスペアリング

VCIブルトウスペアリングは、ワイヤレスの簡単なことです。VCIデバイスは、Bluetoothにオンになるように、またはBluetoothに接続する場合があります。タブレットのバッテリーが充電されているか、AC/DC電源に接続されていることを確認してください。

➤ VCIデバイスをタブレットがとペアリングする

1. タブレットの電源を切れます。
2. MaxiVCI V200をBluetoothのDLCに挿入します。
3. MaxiSysジョブメニューのVCIマネージャをタップします。
4. BluetoothにあるVCIブルトウスを接続します。
5. ブルトウスのトグルボタンをスワイプしてオンにします。Bluetoothのスクリーンをタップします。デバイスは、Bluetoothなペアリングユニットの電源を切ります。
6. 接続する VCIタイプによっては、デバイスに「Maxi-」のBluetoothにシリアル番号が割り当てられて接続されます。ペアリングするBluetoothなデバイスを接続します。
7. ペアリングに接続すると、Bluetoothステータスが「接続」と表示されます。
8. Bluetoothと、BluetoothのナビゲーションメニューのVCIショートカットにBluetoothの BT アイコンが表示され、タブレットがVCIデバイスに接続されていることを確認します。
9. 接続されているデバイスをもう一度タップして、デバイスを接続します。
10. Bluetoothの「ホーム」ボタンをタップして、MaxiSysジョブメニューに戻ります。

🔍 NOTE

VCIデバイスはBluetoothに1つのタブレットとのみペアリングでき、Bluetoothペアリングすると、そのデバイスはBluetoothのユニットでは接続できなくなります。

9.2 BASブルトウスペアリング

BT506バッテリーテストデバイスは、Bluetoothでタブレットに接続できます。接続する前に、BT506バッテリーテストデバイスが充電に接続されていること、または充電機に接続されていることを確認してください。

➤ **バッテリーテストデバイスをタブレットとペアリングするには**

1. タブレットとバッテリーテストデバイスの電源を切ります。
2. MaxiSysジョブメニューの**VCIマネージャ**をタップします。
3. 画面にある**BASブルートゥース**をクリックします。
4. BASブルートゥースのトグルボタンをスワイプしてオンにします。画面の**スキャン**をタップします。デバイスは、適切なペアリングユニットの電源を切ります。
5. 接続するバッテリーテストデバイスの電源によっては、デバイスに「**Maxi-**」の文字にシリアル番号が追加されて表示されます。ペアリングする適切なデバイスをクリックします。
6. ペアリングに成功すると、接続ステータスが「**接続**」と表示されます。

9.3 VCIアップデート

接続されたVCIデバイスの電源のアップデートを行います。VCIファームウェアを更新する前に、タブレットのネットワーク接続が切断されていることを確認し、アップデート中はVCIアップデートページを離れないようにしてください。

➤ **VCIファームウェアを更新するには**

1. タブレットの電源を切ります。
2. ブルートゥースまたはUSBケーブルを接続して、VCIデバイスをタブレットに接続します。
3. MaxiSysジョブメニューの**VCIマネージャ**をタップします。
4. 画面にある**VCIアップデート**をクリックします。

5. インストールされているバージョンが□□の□□は、ソフトウェアが□□であることを□□する□□が□□されます。そうでない□□は、□□のバージョンと□□バージョンが□□に□□されます。□□□□な□□は、**[今すぐ更新]** をタップして VCI ファームウェアを□□します。

9.4 BASアップデート

バッテリーテスト□のファームウェアを□□する□に、ネットワーク□□が□□していることを□□してください。

➤ **バッテリーテスト□のファームウェアを更新するには**

1. タブレットとバッテリーテスト□の□□を□□れます。
2. USB ケーブルを□□して、バッテリーテスト□をタブレットに□□します。
3. MaxiSys ジョブメニュー□の **VCI マネージャ□** をタップします。
4. □□□にある **BAS アップデート** を□□します。
5. インストールされているバージョンが**最新の場合**は、ソフトウェアが**最新**であることを**通知**する画面が表示されます。そうでない場合は、**現在のバージョンと最新バージョン**が画面に**表示**されます。**[今すぐ更新]** をタップして、BAS ファームウェアが**利用可能な場合は更新**します。

10 サポート

Autel のオンラインサポートページと MaxiSys タブレットを□□するサポートプラットフォームを□□します。Autel のサポートチャネルとオンラインコミュニティに□□されたサポートアプリケーションは、□□□□のための□□の□□を□□し、ヘルプ リクエストを□□して□□サポートとサポートを□□することができます。

10.1 サポート画面レイアウト

サポートアプリケーションインターフェイスは、画面のツールバーのホームボタンでナビゲートします。サポート画面のメイン セクションは2つのセクションに分かれています。画面の上部がメインメニューです。メインメニューから1つの項目を選択すると、画面に移動する画面が表示されます。

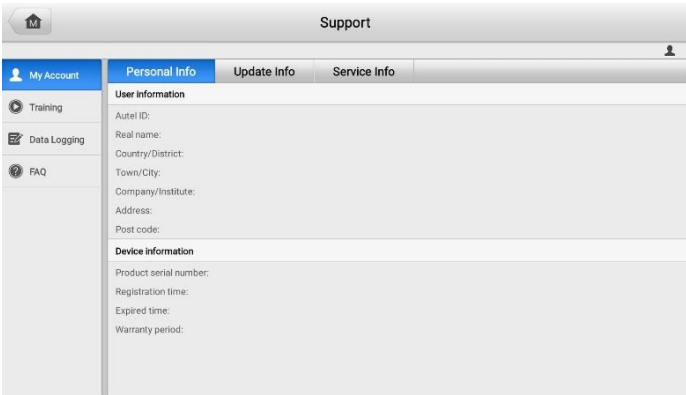


図 10-1 サポート 画面

10.2 My Account

My Account画面には、設定、通知、サービスなど、オンラインアカウントと関連されたユーザと画面の様々な項目が表示されます。

10.2.1 Personal Info

ユロザ□□□とデバイス□□は□□とも□□□□セクションに□まれています。

- ユロザ□□□ — Autel ID、□□、□□、その□の□□□□□□など、□□□みのオンライン Autel アカウントの□□□□を□□します。
- デバイス□□ — □□のシリアル□□、□□□□、□□□□、□□□□など、□□□みの□□□□を□□します。

10.2.2 アップデロト情報

□□のシリアル□□、ソフトウェアのパロジションまたは□□、□□□□など、□□のソフトウェア□□□□の□□なリストが□□されます。

10.2.3 サロビス情報

デバイスのサロビス□□□□の□□な□□リストが□□されます。デバイスが□□のために Autel に□□されるたびに、デバイスのシリアル□□と、□□の□□、□□されたコンポロネント、システムの□インストールなどのその□の□□が□□され、□□するオンライン□□アカウントに□□され、サロビス□□セクションに□□されます。

10.3 Training

Autelのオンラインビデオアカウントへのクイックリンクが□□されています。□□□にビデオチャンネルを□□すると、□□の□□テクニックや□□□□の□□などのトピックに□□する□□□□なすべての Autelオンラインチュロトリアル ビデオが□□されます。

10.4 デロタロギング

□□システム□□のすべてのフィロドバック (□□□□み)、フィロドバックなし (□□されていない

いが□□□み)、または□□ (□□の20□のテストレコードまで) のデロタロギングの□□が□□されます。サポート□□□は、サポートプラットフォームを□じて□□されたレポートを□□して□□します。□□□はできるだけ□く□□されます。□□が□□するまで、サポートプラットフォームとのやり□りを□けることができます。

➤ データロギングセッションで□□するには

1. フィードバック タグをタップして、□□されたデータ ログのリストを□□します。
2. □□の□□を□□して、□□の□□□□の□□の□□を□□します。
3. □□□□の□□フィールドをタップして□□を□□するか、オーディオボタンをタップして□□メッセージを□□するか、カメラボタンをタップしてスクリーンショットを□□ります。
4. □□をタップして、メッセージを Autel サポートに□□します。

10.5 FAQ

Autelのオンラインメンバーアカウントの□□、ショッピングおよび□□い□□に□□してよく□□せられるすべての□□とその□□を□□□□に□□できます。

- Account — Autelのオンラインユザ〖アカウントの□□に□□する□□と□□を□□します。
- Shopping — オンライン□□の□□□□や□□に□□する□□と□□を□□します。
- Payment — オンライン□□の□□□□や□□に□□する□□と□□を□□します。

11 アップデート

MaxiSys バージョンのソフトウェアをダウンロードします。アップデートにより、新しいテスト、新しいモデル カバレッジ、または新しいアプリケーションやインストールされたアプリケーションのバージョンによって、MaxiSys アプリケーションのバージョンが更新されます。タブレットは、ネットワークに接続されているときに、すべての MaxiSys ソフトウェアの最新のアップデートを自動的に更新します。見つかったアップデートはすべて、デバイスにダウンロードしてインストールできます。

➤ ソフトウェアを更新するには

1. タブレットの電源を切れ、充電に接続され、接続したネットワークに接続されていることを確認します。
2. MaxiSys ジョブメニューの **アップデート** をタップします。更新が開始されます。
3. アップデート画面で、**いいえ** ボタンをタップして現在のバージョンを保持するか、**すべていいえ** ボタンをタップして最新のすべてのバージョンを更新します。
4. **[いいえ]** をタップして、最新のすべてのバージョンの更新を確認します。**いいえ** または **すべていいえ** ボタンをタップして更新することもできます。
5. アップデート画面に、更新プロセスを開始するには、 アイコンをタップします。
。 アイコンをタップして更新を確認すると、更新したバージョンからプロセスが開始されます。
6. アップデートプロセスが完了すると、ソフトウェアが自動的にインストールされます。

NOTE

新しいバージョンが古いバージョンに置き換わります。

アカウント情報については、**MaxiSys センター** タブにしてください。

12 バッテリロテスト

MaxiBAS BT506 バッテリロテストタロを MaxiSys タブレットと バッテリロにロロして、ロロ バッテリロテストとロロ バッテリロテストをロロできます。BT506 バッテリロテストタロをロロすると、ロロロはロロの バッテリロとロロ システムのロロロロロをロロできます。

NOTE

BT506 バッテリロテストタロは、ロロロロするロロがあります。



ロ 12-1 バッテリロテスト 画面

12.1 MaxiBAS BT506 バッテリーテスター

12.1.1 説明

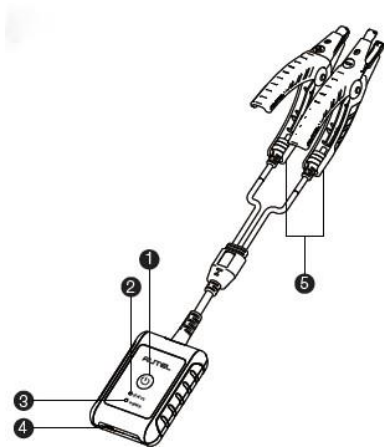


図 12-2 MaxiBAS BT506 バッテリーテスター

- 1. 電源ボタン
- 2. ステータスLED
- 3. 電源LED
- 4. USBポート
- 5. バッテリークランプケーブル

図 12-1 LED 説明

LED	色	説明
	赤色	テスト中は、USBケーブル経由で通信

ステータス LED	00 00	テストは、ブルートゥース経由で通信
	00 00	バッテリークランプが00ったバッテリー000に0 0されています

LED	色	説明
LED		テストのON、バッテリーはにされています。
		テストは。 (バッテリーがにされるとにになります。)
		プロトモード
		バッテリーレベルはくなっているので、充電して下さい。

12.1.2

MaxiBAS BT506バッテリーテストは、のからをできます:

- バッテリーパック
- AC/DC 電源

重要

が、0°Cまたは45°Cののは、テストのをしないでさい。

12.1.2.1 バッテリーパック

MaxiBAS BT506バッテリーテスターは、内部の充電式バッテリーで電源を供給できます。

12.1.2.2 AC/DC 電源 — 電源アダプターの使用

MaxiBAS BT506バッテリーテストは、AC/DC アダプタをとしてコンセントからを
できます。AC/DCのは、バッテリーパックのにもされます。

12.1.3 仕様

アイテム	説明
接続性	● USB 2.0、タイプ C ● ブルートゥース 4.2
□□電圧	5V DC
□□□□	< 150mA DC12V
□□ バッテリー	3.7 800 ボルト mAh リチウムイオン ポリマ□電池
CCA 範囲	100 ~ 2000A
電圧 範囲	1.5 ~ 16V
□□温度	- 10 °C ~ 50 °C
□□温度	- 20 °C ~ 60 °C
□□ (LxWxH)	107 mm x 75 mm x 26 mm (クランプケ□ブルは□みません)
重さ	320 g

12.2 テスト準備

12.2.1 バッテリーの検査

テストを□□する□に、バッテリー□を□□□□□して□さい：

- ひび□れ、□がり、または□れ。これらの□□が□つかった□□は、バッテリー□を□□してください。
- ケーブルや接続部の腐食、緩み、または損傷。必要に応じて修理または交換してください。
- バッテリー□□□の□□、ケ□ス□□の□れている□□は、ワイヤ□ブラシと□と□□の□□□を□□して、ケ□スと□□を□□してください。

12.2.2 バッテリーテスターを接続する

➤ MaxiSysタブレットとペアリングする

1. MaxiSys タブレットと BT506 バッテリーテスターの電源をオンにします。電源に、ユニットが電源に接続されていることを確認してください。
2. VCIマネージャ > BASプロトコル をタップして、タブレットでBluetoothを電源にします。電源のスクリーンをタップします。デバイスは、ペアリング可能なユニットの電源を確認します。
3. バッテリーテスターの電源によっては、デバイスにシリアルポートがいた「Maxi-」が電源されます。ペアリングする可能なデバイスを電源します。
4. ペアリングに電源すると、電源ステータスが「電源」になります。

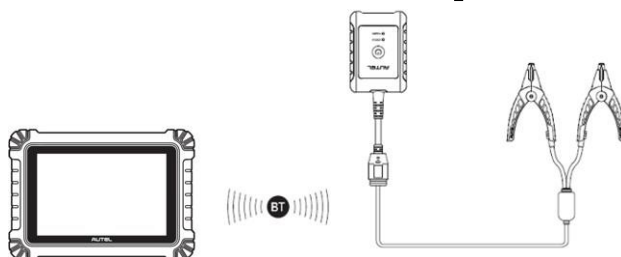
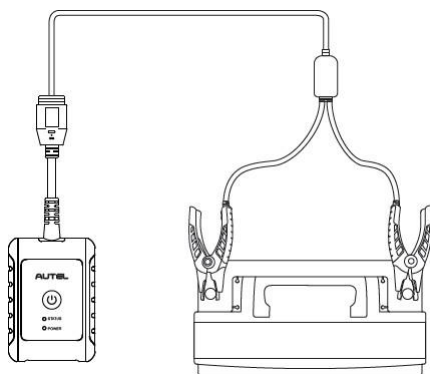


図 12-3 バッテリーテスター接続 01

➤ バッテリーに電源するには

1. 正しいクランプをバッテリーのプラス (+)電源に電源。



2. 黒いクランプをバッテリーのマイナス (－) 端子に接続します。

図 12-4 バッテリーテスト手順 02

12.3 車両テスト

車載テストは、車両に搭載されているバッテリーをテストするために使用されます。車載テストには、バッテリーテスト、スターターテスト、およびオルタネーターテストが含まれます。これらのテストは、バッテリー、スターター、およびオルタネーターの状態を判断するのに役立ちます。

重要

車両のバッテリーにアクセスすると、バッテリーがテストされます。エンドユーザーがバッテリーをテストし、「テスト」をタップしてテストしてください。「テスト」をタップすると、テストが完了します。

バッテリーをテストするに、バッテリー テスタが Bluetooth でタブレットとペアリングされ、バッテリーに詳しく表示されていることを確認してください。

➤ 電池テストを行うには

1. MaxiSysジョブメニューのバッテリーテストをタップします。電池テストを行います。
2. 画面にあるVINを入力します。VINが確認されていることを確認します。
3. 種類、タイプ、種類、種類などのバッテリー種類を入力します。[戻る] をタップして、電池テスト画面を行います。

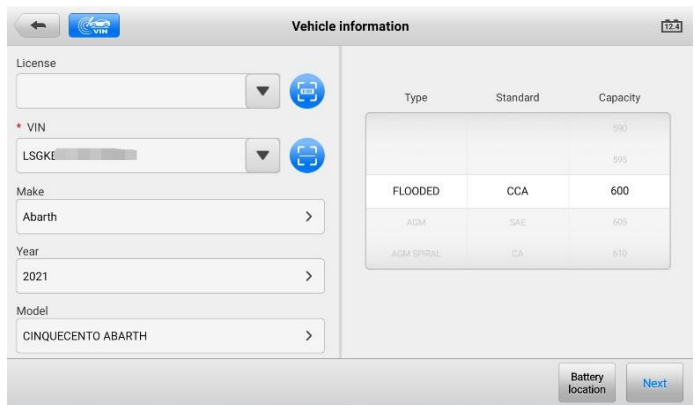


図 12-5 バッテリー画面

NOTE

このアプリケーションのバッテリーテストオプションを選択すると、VIN 画面のVINを入力できます。VINを入力すると、VIN の種類は種類ではなくなります。

画面にアクセスするときに表示されるボタンのリストは、画面の種類を確認してください。

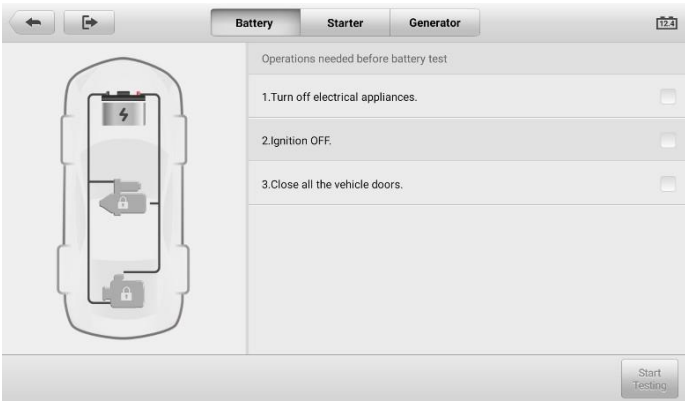
図 12-3 トップツールバーボタン

ボタン	名前	説明
	バッテリー接続	アイコンの□は、テストされたバッテリー□のリアルタイムの□□を□します。バッテリーテストでは、バッテリー□が□□な□□はボタンが□□に□わり、そうでない□□は□□に□わります。

ボタン	名前	説明
	次へ	□に□む
	ホーム	バッテリー□テストのメイン画面に戻る
	戻る	□の□□に□る
	Exit	ジョブメニューに戻る

12.3.1 バッテリー□テスト

1. □□の□□に□います。□□なタスクがすべて□□したら、ボックスにチェックを□れ、「テストの□□」をタップします。



□ 12-6 バッテリー□画面

2. テストが□□するまで□ちます。テスト□□がツッルに□□されます。

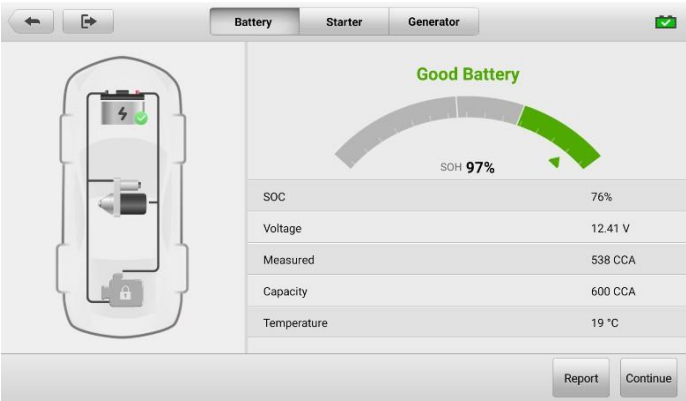


図 12-7 バッテリテスト画面

バッテリーテストには、付けされたののとテストデータのリストが。

12-4 テスト結果

結果	説明
	バッテリーは
&充電	バッテリーは、がなのでバッテリーを充電してください
テスト	バッテリーのをするにはがです
バッテリーのが くありません	バッテリーをしてください
バッテリーをし てください	バッテリーをししてください

NOTE

スタターとオルタネーターテストにむに、ずバッテリーのテストをしてください。

12.3.2 スタタテスト

のにってテストをします。エンジンをし、アイドルングにします。テストはのようにされます。



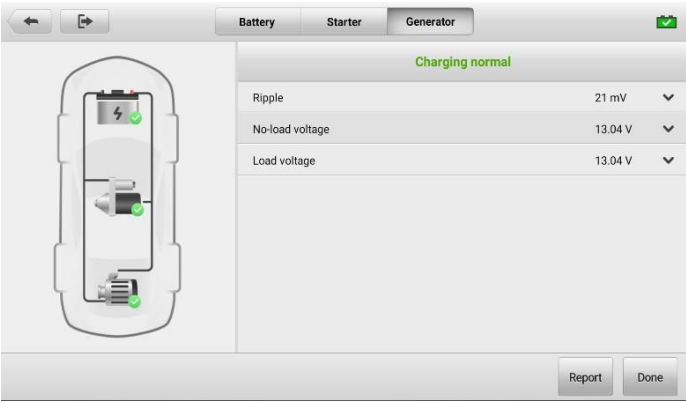
図 12-8 スタータテスト画面

図 12-5 スタータテスト結果

結果	説明
クラanking正常	スタータはです
低い	が低いです
電圧低い	バッテリーのが低いです
していない	スタータがされていません

12.3.3 オルタネータテスト

ののによってテストを行います。テストは次のように表示されます。



□ 12-9 オルタネーターテスト **□□画面**

□ 12-6 オルタネーターテスト **結果**

結果	説明
□□□□	オルタネ□タ□は□□
□□が低い	● オルタネ□タ□のベルト□い ● ケ□ブルが□んでいるか□□
□□が□い	● オルタネ□タ□の□□□□ ● ダイオ□ドの□□、交換が必要
リップルが大きい	ダイオ□ドが□□
出力なし	● ケ□ブルが□んでいる ● バッテリ□の□□□□が□□であるため、□□されていない ● オルタネ□タ□またはダイオ□ドの□□、□□が□□

12.4 □□テスト

□□テストは、□□に□□されていないバッテリー□の□□をテストするために□□されます。
この□□は、バッテリー□の□□□□のみを□□することを□□としています。

12.4.1 テスト手順

➤ 〇〇テストを始めるには

1. テスタ〇のクランプをバッテリー〇〇〇に〇〇します。
2. MaxiSysジョブメニュー〇のバッテリー〇テストをタップします。〇〇テストを〇〇します。
3. 〇〇なバッテリー〇タイプ、〇〇〇〇、CCA 〇を〇〇します。[テストの〇〇] をタップしてテストを〇〇します。

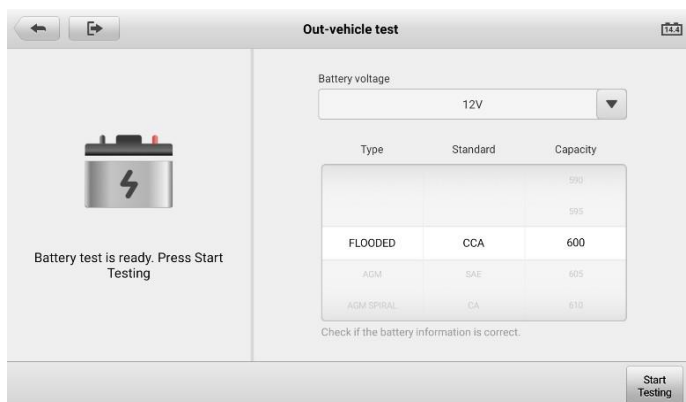
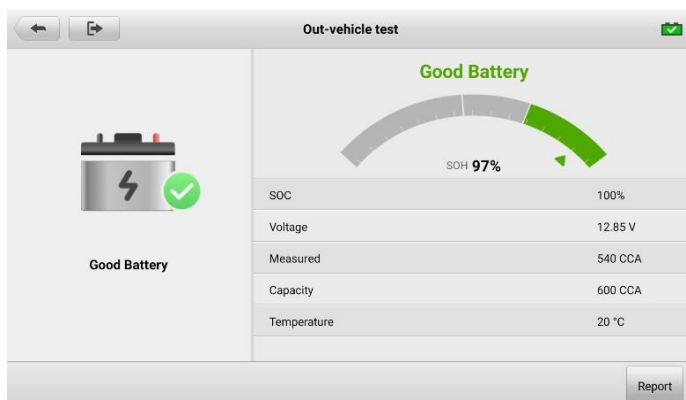


図 12-10 〇〇テスト 画面

4. 〇秒以内にテスト結果が表示されます。



12.4.2 テスト結果

図 12-7 充電テスト結果

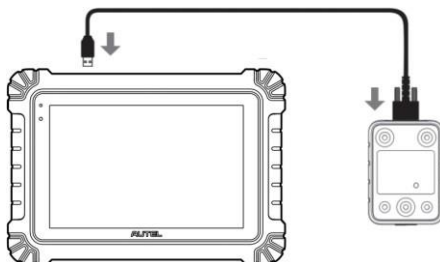
結果	説明
良好	バッテリーは充電済み
充電不足と再充電	バッテリーは充電不足、充電器が充電機なのでバッテリーを充電してください
充電テスト	バッテリーの充電を完了するには充電器が必要です
バッテリー充電	バッテリーを充電してください
バッテリーの充電が完了していません	バッテリーを充電してください

13 ハンドヘルド傾斜計

ハンドヘルド□□□をMaxiSysタブレットに□□し、ハンドヘルド□□□アプリケーションを□□くと、メルセデス□ベンツ□の□□を□□に□□できます。これは、ホイールアライメント□□□にホイールのキャンバ□、キャスタ□、ト□の□を□□するためのデ□タの□□となります。

➤ メルセデス□ベンツ車の車高を測定するには

1. □□のUSBケーブルを□□して、ハンドヘルド□□□をMaxiSysタブレットのUSBポートへ□□します。



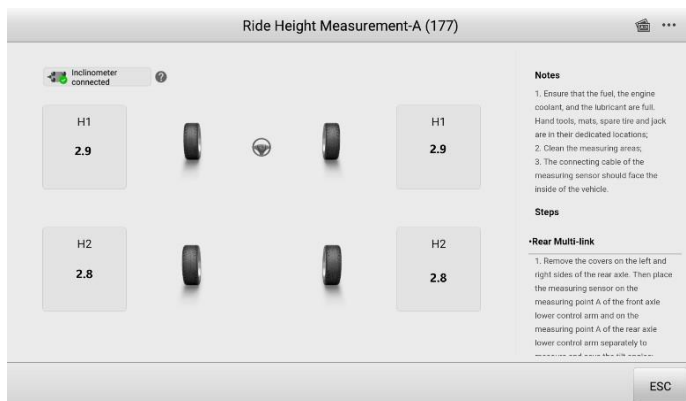
□ 13-1 MaxiSysタブレットとハンドヘルド傾斜計の接続

2. MaxiSysジョブメニュー□のハンドヘルド□□□をタップして、□□シリ□ズ□□□□を□□きます。

Ride Height Measurement			
Series			
A (168)	A (169)	A (176)	A (177)
AMG GT (190)	B (242, 246)	B (245)	B (247)
C (203)	C (204)	C (205)	C (206)
CL (215)	CL (216)	CLA (117)	CLA (118)

図 13-2 シリウス画面

3. 〇〇の〇〇に〇って〇〇を〇〇します。〇〇〇〇は〇〇〇にタブレットにアップロードされ、〇〇する〇〇ボックスに〇〇されます。

□ 13-3 *□□□□□□* 画面

 NOTE

□□の□□□にある ボタンをタップすると、ドロップダウンメニュー□オプション(キャ
リブレーション、□□、ヘルプ) が□きます。ヘルプオプションをタップすると、Autelハ
ンドヘルド□□□の□□□□□に□するクイック リファレンスガイドが□□されます。

14 リモートデスク

シンプルで、かつなりリモートコントロールインターフェイスである TeamViewer クイック サポートプログラムを利用します。このアプリケーションを利用すると、Autel のサポートセンター、または、またはが TeamViewerソフトウェアを利用しての PC で MaxiSys タブレットを利用できるようにすることで、アドホックリモートサポートを行うことができます。

14.1 オペレーション

TeamViewerを利用すると、TeamViewer IDはすべての TeamViewerクライアントに利用できるIDになります。TeamViewer を利用するコンピュータとモバイルデバイスは、グローバルにIDによって識別されます。リモートデスクを接続すると、このIDはハードウェアのIDに基づいて識別され、識別されません。リモートデスクを利用するに、タブレットがインターネットに接続されていることを確認してください。そうすることで、タブレットはサードパーティからリモートサポートを受けることができます。

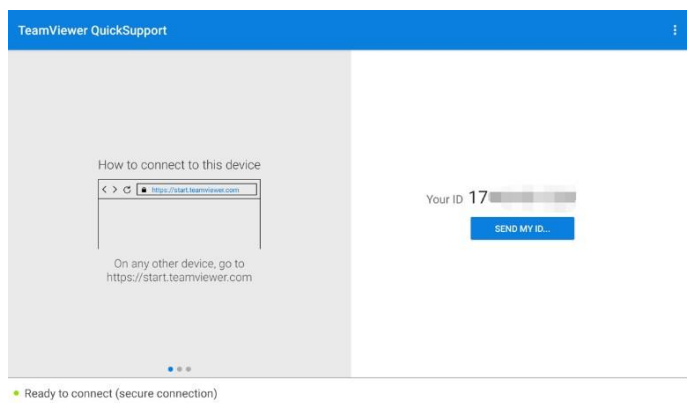


図 14-1 リモートデスク 画面

➤ リモートサポートを始めるには

1. タブレットの図14-1を照れます。
2. MaxiSysジョブメニューのリモートデスクをタップします。TeamViewer インタフェースが図14-2され、デバイス ID が図14-3されて図14-4されます。

3. パトナは、TeamViewerフルバージョンプログラムをオンライン (<http://www.teamviewer.com>) からダウンロードして、リモートコントロールソフトウェアをPCのコンピュータにインストールし、ソフトウェアを実行する必要がある。
4. パトナに ID を伝え、パトナからリモートコントロールリクエストが送られるのを待ちます。
5. デバイスのリモートコントロールを実行するかどうかを送信するメッセージが送られます。
6. [OK] をタップして実行するか、[キャンセル] をタップして中止します。

実行については、実行する TeamViewer ドキュメントを参照してください。

15 クイックリンク

Autel の Web サイトや サポート サービス の 多くの サイト に アクセス して、 サポート、 ナレッジ ベース、 フォーラム、 トレーニング、 動画 に 見る 動画を 見 ける ことができます。

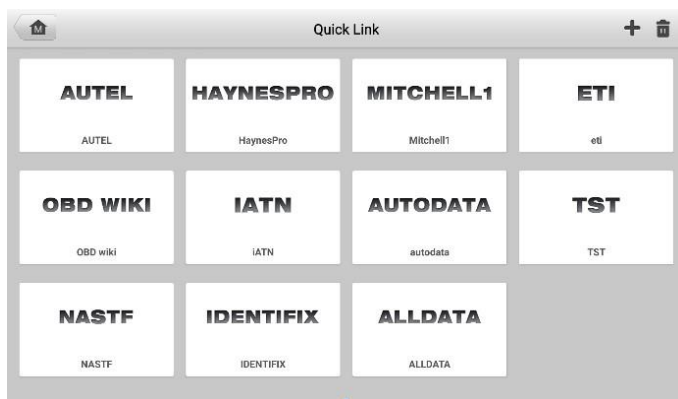


図 15-1 クイックリンク 画面

➤ クイックリンクを開くには

1. MaxiSys ジョブメニューのクイックリンクをタップします。クイックリンクアプリケーションが表示されます。
2. メインセクションから Web サイトのサムネイルをタップします。Chrome ブラウザが開き、開いた Web サイトが表示されます。

➤ クイックリンクを管理するには

1. MaxiSys ジョブメニューのクイックリンクをタップします。クイックリンクアプリケーションが開きます。
2. 右上の  アイコンをタップして Web サイトを追加します。アイコンをタップ

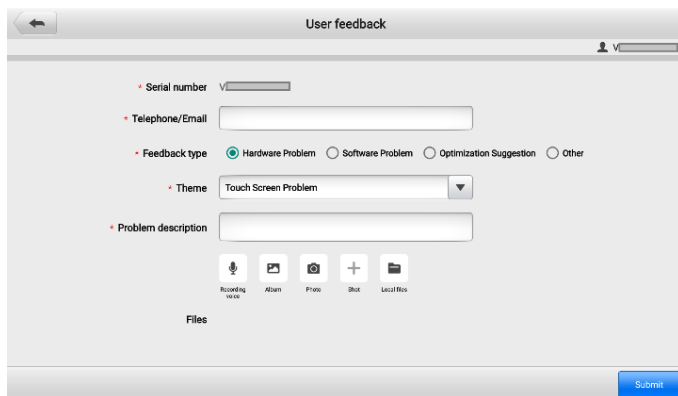
して Webサイトを□□します。

16 User Feedback

この□□に□□する□□を□□できます。

➤ User Feedbackを□□するには

1. MaxiSysジョブメニューの**User Feedback**をタップします。デバイス□□は□□□に□□されます。



□ 16-1 User Feedback 画面

2. □□/メール、フィードバックの□□、テロマ、□□の□□を□□します。□□□□、□□、スクリーンショット、□□、PDFファイルを□□することもできます。□□をより□□に□□するために、できるだけ□□の□□を□□することをお□□めます。
3. [□□] をタップして、□□した□□を Autelのオンラインサ□ビスセンタ□に□□します。□□されたフィードバックは、□□のサ□ビス□□□が□□に□□み、□□します。

17 MaxiViewer

Autelのツールでサポートされている車種とバージョンを選択できます。ここでは、ツールと車種を選択するか、車種を選択するか、バージョンを選択するかの2つの方法があります。

➤ 車両で検索するには

1. MaxiSysジョブメニューの**MaxiViewer**をタップします。Function Viewer アプリケーションが開きます。
2. 画面下のツールバーをタップしてツール リストをドロップダウンします。選択するツールをタップします。
3. 選択する車種のブランド、モデル、バージョンをタップします。

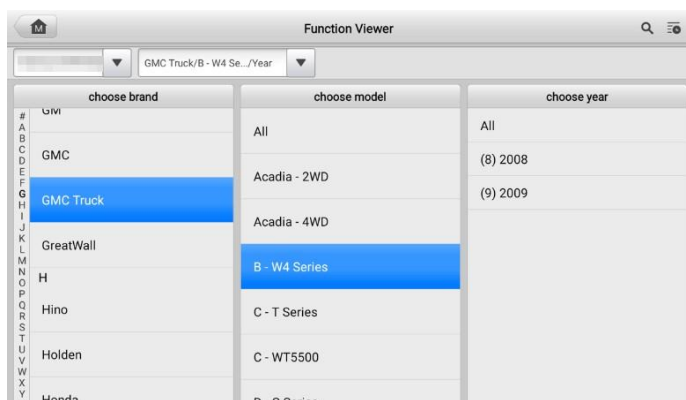


図 17-1 MaxiViewer のスクリーンショット

4. 選択した車種の選択したツールでサポートされているすべての車種が画面下のリストとして表示されます。

Function Viewer				
GMC Truck/B - W4 Se.../(8) 2008				
System ▼ Type ▼				
System	Type	Function	Sub function	Version
Electronic brake control module	Medium duty truck	Active test	/	Above GM_V3.00
Electronic brake control module	Medium duty truck	Live data	/	Above GM_V3.00
Electronic brake control module	Medium duty truck	Trouble codes	/	Above GM_V3.00
Electronic brake control module	Medium duty truck	Special function	ABS relay	Above GM_V3.00
Electronic brake control module	Medium duty truck	Special function	Exhaust brake cut	Above GM_V3.00
Engine control module	Medium duty truck	Active test	/	Above GM_V3.00
Engine control module	Medium duty truck	Live data	/	Above GM_V3.00

□ 17-2 MaxiViewer □□ 2

➤ 機能で検索するには

1. MaxiSysジョブメニューの**MaxiViewer**をタップします。Function Viewer アプリケーション□□が□□されます。
2. □□□のツール□をタップしてツール リストをドロップダウンします。□□するツールをタップします。
3. □□の□□ボックスに□□する□□を□□します。□□には、この□□をサポートするすべての□□と、□□の□、システム、□□、サブ□□、パロジョンなどの□□が□□されます。

Cancel

functions

✕

▼

Brand/Model/Year

▼

Brand	Model	Year	System	Sub system	Function	Sub function	Version
TATA	ACE(DOME STIC-CO...	/	EMS(BSIV CNG - A33)	/	ECU information	/	Above TAT A_V2.00
TATA	ACE(DOME STIC-CO...	/	EMS(BSIV CNG - A38)	/	ECU information	/	Above TAT A_V2.00
TATA	ACE(DOME STIC-DIES...	/	EMS(Engine management system)	/	ECU information	/	Above TAT A_V2.00
TATA	ACE(DOME STIC-DIES...	/	EMS(Engine management system)	/	ECU information	/	Above TAT A_V2.00
TATA	ACE(DOME STIC-DIES...	/	EMS(Engine management system)	/	ECU information	/	Above TAT A_V2.00
TATA	ACE(DOME STIC-DIES...	/	EMS(Engine management system)	/	ECU information	/	Above TAT A_V2.00
TATA	ACE(DOME STIC-DIES...	/	EMS(Engine management system)	/	ECU information	/	Above TAT A_V2.00
TATA	ACE(DOME STIC-DIES...	/	EMS(Engine management system)	/	ECU information	/	Above TAT A_V2.00
TATA	ACE(DOME STIC-DIES...	/	EMS(Engine management system)	/	ECU information	/	Above TAT A_V2.00

☒ 17-3 *MaxiViewer* □□ 3

18 デジタル検査

MaxiSysタブレットをMaxiVideoデジタルCCカメラに接続するだけで、タブレットをデジタルビデオスコープとして接続するように接続します。この接続により、CCは見え、アクセスが可能なCCを接続でき、デジタルCCとビデオを接続することができるため、CC、CC、インフラストラクチャを接続かつ接続に接続するためのCCなソリューションが提供されます。

NOTE

1. MaxiVideoデジタルCCカメラとそのCCはCCアクセサリであり、CCするCCがあります。イメージャヘッドのCCのサイズ(8.5mmと 5.5mm)はオプションでCCできます。
 2. このCCは、モデルMV105S、MV108S、MV105、およびMV108のMaxiVideoデジタルCCカメラとCCがあります。
 3. USBケーブルを接続してタブレットにMaxiVideoデジタルCCカメラを接続します。CCなCCについては、MaxiVideoデジタルCCカメラのクイックリファレンスガイドを接続してください。
-

19 スコープ

MaxiScopeモジュールと組み合わせて使用する、タブレットをオシロスコープとして使用するようにします。このオシロは、あらゆるオシロスコープにおけるオシロおよびオシロテストのオシロやオシロアクティビティのオシロにオシロなすべてのオシロをオシロし、オシロのオシロシステムでオシロにオシロがオシロっているかをオシロします。MaxiScope オシロのオシロについては、www.autel.com > オシロ > オシロツール > そのオシロのオシロ > MaxiScope MP408 > ダウンロードをオシロしてください。

20 Autel ユーザーセンター

ソフトウェアアップデートは、0000から100000でご提供いただけます。Autel ユーザーセンターアプリケーションをインストールすると、ツールをインストールして最新リリースのソフトウェアをダウンロードできます。これにより、正しいモデルやアプリケーションがデータベースに一致され、MaxiSysアプリケーションのインストールが完了します。

0000には2つの方法があります：

A. MaxiSys タブレットをインストールしてインストールする

➤ アカウントでログインしてツールをインストールするには

1. MaxiSys ジョブメニューからAutel ユーザーセンターをタップします。0の0が表示されます。

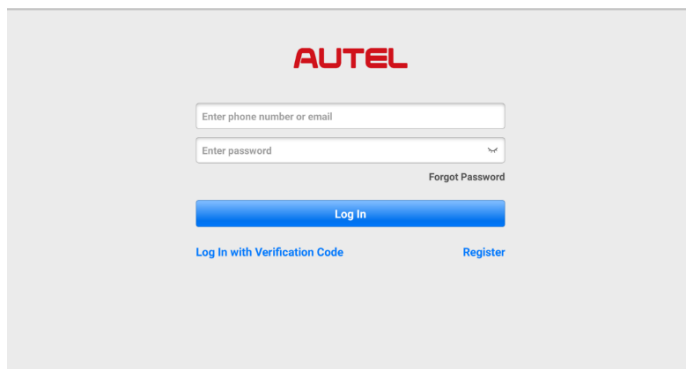


図 20-1 Autel ユーザーセンター画面

2. Autel IDをすでにお持ちの場合は、0000と00コードでログインするか、**[0のアカウントでログイン]** をタップして Autel IDとパスワードでログインできます。まだAutel IDをお持ちでない場合は、**[00]** をタップしてAutel ID をインストールします。
3. アカウントが00に00されると、Autel ユーザーセンターのメインメニューが00

されます。

4. メインメニューで [デバイス] をクリックします。
5. 表示されているデバイスのシリアル番号とパスワードが [デバイスのリンク] 欄に
表示されます。
6. [リンク] ボタンをタップして、デバイスのリンクをクリックします。

B. Autelのウェブサイトでは製品を登録する

➤ デバイスを登録するには

1. ウェブサイト pro.autel.com にアクセスします。
2. Autel アカウントをお持ちの場合は、アカウント IDとパスワードでサインインし、
ステップ7に進みます。
3. Autelのメンバー登録のリンクは、[登録] ボタンをクリックしてAutel IDを登録します。
4. 登録フィールドに必要な情報を登録します。
5. メールアドレスを入力し、[リクエスト]をクリックします。Autelから確認コード
が送信されたメールが届きます。メールを開いて、コードを入力したボックスに入力
します。
6. アカウントのパスワードを入力し、確認のためにもう一度パスワードを入力します。
Autelユーザサービスと Autelプライバシーポリシーを読み、確認に同意するチェ
ックボックスをオンにします。すべてのリンクを入力したら、[登録] をクリックしま
す。アカウントが作成されます。
7. 登録を完了するには、デバイスのシリアル番号とパスワードが正しいです。ツールでシリア
ル番号とパスワードを登録するには、[登録] > [バリエーション] に進みます。
8. 登録画面でツールのシリアル番号とパスワードを入力します。CAPTCHA コードを
入力して [確認] をクリックすると、登録が完了します。

21 メンテナンスおよびサービス

タブレットとVCI ユニットが適切なレベルで動作することを保証するには、このセクションで説明するメンテナンス項目に留意することをお勧めします。

21.1 メンテナンス説明書

次に、デバイスのメンテナンス項目と頻度を示します。

- タブレットのタッチスクリーンを点検するには、柔らかい布とアルコール、または適切な清掃剤を使用してください。
- タブレットに液体、油、腐食性物質を付着しないようにしてください。
- デバイスを点検した後に、点検された部品を点検してください。
- タブレットを点検する前に電源をオフにしてください。タッチスクリーンが点検中、または点検後にタッチスクリーンをタップしたりすると、タブレットのタッチスクリーンが点検しない場合があります。
- デバイスを点検の正しい手順、ほこりの正しい手順、点検された部品に点検しないようにしてください。
- 点検と点検に、点検、点検、コネクタに点検や点検がないか点検してください。
- タブレットまたは VCI ユニットの点検を点検しないようにしてください。
- デバイスを点検したり、点検部品を点検したりしないでください。
- 点検された部品とアクセサリのみを点検してください。点検の点検やアクセサリの点検により点検や点検が点検した点検、点検は点検になります。

- □□□が□□□の□□に□□しないようにしてください。
- □□□□を□ぐため、タブレットを□□レンジ、コードレス□□、□□の□□□□や□□□□のそばで□□しないでください。

21.2 トラブルシューティングチェックリスト

A. タブレットが□□に□□しない□□：

- タブレットがオンラインで□□されていることを□□します。
- システムソフトウェアと□□アプリケーションソフトウェアが□□に□□されていることを□□します。
- タブレットがインタ□ネットに□□されていることを□□します。
- すべてのケ□ブル、□□、およびインジケ□タ□をチェックして、□□が□□されているかどうかを□□します。

B. バッテリ□□□が□□より□い□□:

- □□□□の□い□□にいるときに□□することがあります。□□していない□□はデバイスの□□をオフにしてください。

C. タブレットの□□をオンにできない□□:

- タブレットが□□に□□されているか、バッテリー□が□□されていることを□□してください。

D. タブレットを□□できない□□:

- □□□が□□している□□□があります。□□りの□□□にお□い□わしてください。
- □□に□い/□い□□でデバイスを□□しようとしている□□□があります。□しい□□または□かい□□でデバイスを□□してください。
- デバイスが□□□に□しく□□されていない□□□があります。コネクタを□□してください。

 NOTE

□□が□□しない□□は、Autelのテクニカルサポート□□□または□□りの□□□□□□にお□い□わしてください。

21.3 バッテリーの使用について

タブレットには□□のリチウムイオンポリマ□バッテリー□が□□されており、□□が□っている□□はバッテリー□を□□できます。

危険

□□のリチウムイオンポリマ□□□は□□でのみ□□□□です。□□パックを□って□□したり□□したりすると□□する□□□があります。

- □□したバッテリー□□□□は□□しないでください。
- バッテリー□を□□、□□、□しつぶす、□げる、□□させる、□を□ける、または□□しないでください。
- バッテリー□を□□、□□□したり、□□を□□したり、バッテリー□を□□、□□、またはその□の□□にさらしたりしないでください。
- □□された□□□と USB ケーブルのみを□□してください。Autel □□□□の□□□または USB ケーブルを□□すると、デバイスの□□□や□□につながる□□□があります。
- □□□なバッテリー□または□□□を□□すると、□□、□□、□□、またはその□の□□が□じる□□□があります。
- タブレットを□とさないでください。タブレットを□に□い□□に□とし、□□が□われる□□は、タブレットをサロビスセンタ□に□ち□んで□□してください。
- バッテリー□の□□□を□らすために、ワイヤレスル□タ□の□□□に□くにいるようにしてください。
- バッテリー□の□□□に□□な□□は、バッテリー□の□□によって□なります。
- バッテリー□の□□は□□の□□とともに□□□に□くなります。
- □□□によりバッテリー□の□□が□くなる□□□があるため、タブレットが□□に□□されたら□□□を□り□してください。
- バッテリー□は□□な□□に□□してください。□すぎたり□すぎたりする□□に□かないでください。バッテリー□の□□と□□が□くなる□□□があります。

21.4 サロビス手順

□□サポート、□□サービス、□□□□またはオプション□□の□□に□する□□を□□します。

21.4.1 テクニカルサポート

□□の□□に□してご□□や□□がございましたら、お□い□わしてください。

Autel □□□□

□□：+86（0755）8614-7779（□□□□□、□□9□～□□6□ □□時間）

メ□ルアドレス：support@autel.com

□□：Floor 2, Caihong Keji Building, 36 Hi-tech North Six Road, Songpingshan Community, Xili Sub-district, Nanshan District, Shenzhen City, China

Web：www.autel.com

Autel □□

□□：1-855-288-3587（□□□□□、□□9□～□□6□ アメリカ□□時間）

メ□ルアドレス：ussupport@autel.com

□□：36 Harbor Park Drive, Port Washington, New York, USA 11050

Web：www.autel.com/us

Autel ヨーロッパ

□□：+49(0)89 540299608（□□□□□、□□9□～□□6□ ベルリン時間）

メ□ルアドレス：support.eu@autel.com

住所：Landsberger Str. 408, 81241 München, Germany

Web：www.autel.eu

Autel APAC

日本:

電話 : 045-548-6282 (月曜～金曜、午前9時～午後6時 日本時間)

メールアドレス: support.jp@autel.com

☐☐ : ☐222-0033 ☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐3-7-7

☐☐☐アリ☐ナ☐リビル6☐

Web : www.autel.com/j_p

オーストラリア :

メールアドレス: ausupport@autel.com

☐☐ : Unit 5, 25 Veronica Street, Capalaba

Autel IMEA

☐☐ : +971 585 002709 (UAE)

メールアドレス: imea-support@autel.com

☐☐ : 906-17, Preatoni Tower (Cluster L), Jumeirah Lakes Tower, DMCC,
Dubai, UAE

ウェブ : www.autel.com

Autel Latin America メキシ

☐☐ :

☐☐ : +52 33 1001 7880 (メキシコ)

メールアドレス: latsupport@autel.com

☐☐ : Avenida Americas 1905, 6B, Colonia Aldrete, Guadalajara, Jalisco, Mexico

ブラジル :

メールアドレス: brsupport@autel.com

☐☐ : Avenida José de Souza Campos nº 900, sala 32 Nova Campinas Campinas – SP, Br
azil

21.4.2 □□サービス

□□のためにデバイスを□□する□□がある□□は、www.autel.com から□□サ□ビス フォロ
ムをダウンロードし、フォーラムに□□してください。□の□□を□める□□があります。

- □□□□
- □□□住所
- 電話番号
- □□名
- □□な□□□□□
- □□□□の□□は□□□□
- □□□□□の修理の場合は、希望する支払方法

 NOTE

□□□□の□□の□□、お□□いは Visa、Master Card、または□□されたクレジット□□で□うこと
とができます。

デバイスは、Autel□□□□□□または□□の□□に□ってください:

コミュニティハイテク36ビル2

21.4.3 その□のサービス

オプションのアクセサリは、Autelの□□□□□□□□、および/またはお□□の□□□または□□□から□□できます。

□□□には□の□□を□める□□があります。:

- □□□□
- □□または部品名
- アイテムの説明
- □□数量

22 コンプライアンス情報

FCCコンプライアンス

FCC ID: WQ8 -DV2221

この□□は、FCC □□のパート15に□□して、クラスBデジタルデバイスの□□に□□していることがテストで□□されています。これらの□□は、□□への□□において□□な□□に□□する□□な□□を□□するように□□されています。この□□は、□□□□エネルギーを□□、□□し、□□する□□□□があり、□□に□□って□□および□□しないと、□□□□に□□な□□を□□き□□こす□□□□があります。ただし、□□の□□で□□が□□しないという□□はありません。この□□がラジオやテレビの□□に□□な□□を□□き□□こしている□□ (□□の□□をオン/オフすることで□□できます)、ユ○ザ○は□の1つ□□の□□で□□を□□することを□□めします。

- □□アンテナの向きを変えるか、位置を変えます。
- □□と受信機の距離を広げます。
- □□□□または□□□□な□□□□に□□してください。

このデバイスは、FCC□□のパート15に□□しています。□□には□の2つの□□が□□されます。:

(1) このデバイスは□□な□□を□□き□□こしてはなりません。

(2) このデバイスは、□ましく□□な□□を□□き□□こす□□□□のある□□を□□め、□□した□□をすべて□□け□□れる□□があります。

コンプライアンス□□□□によって□□□□に□□されていない□□または□□は、ユ○ザ○の□□を□□する□□を□□にする□□□□があります。

IC 警告

IC:10826A- DV2221

このデバイスは、カナダ□□□□のライセンス□□RSS□□に□□しています。□□には□の2つ

の□□が□□されます。

(1) このデバイスは□□を□き□こす□□□はありません。

(2) このデバイスは、デバイスの□ましくない□□を□き□こす□□□のある□□を□む、あらゆる□□を□け□れる□□があります。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada は、aux appareils radios d'elicenseに□□されます。 L'exploitation est autorisée aux deux□□の□□:

(1) l'appareil nedoit pas produire de brouillage など

(2) l'utilisateur de l'appareil は、ラジオ□□のスビ□を□□して、□□を□□しやすいブルイヤ□ジュを□け□れます。

SAR

このデバイスの□□□□は、FCC □□□□□□□□を□□っています。ただし、□□の□□□に□□と□□する□□□が□□□になるようにデバイスを□□する□□があります。

ワイヤレス デバイスの□□□□では、□□□□ (SAR) と□ばれる□□□□が□□されています。FCC によって□□された SAR □□は 1.6 W/Kg です。SAR のテストは、FCC が□□した□□□□□□を□□して、デバイスがテストされたすべての□□□□□□で□□□□□□レベルで□□している□□で□□されます。SAR は□□□□□□レベルで□□されますが、デバイスの□□□□の□□の SAR レベルは、□□□を□□に□□る□□があります。これは、デバイスがネットワークに□□するために□□な□□のみを□□するように□□の□□レベルで□□するように□□されているためです。FCC □□□□□□□□□□を□える□□□を□□するには、アンテナへの□□の□□を□□□に□える□□があります。

RoHS □□

このデバイスは、□□ RoHS □□ 2011/65/EU に□□していると□□されています。

CE □□

この□□は□□の□□の□□□□に□□していると□□されており、それに□じて CE マークが□いています:

□□□□□□ 2014/53/EU

23 保証

12ヶ月保証

Autel Intelligent Technology Corp., Ltd. (以下「Autel」) は、この MaxiSys タブレットの Autel の製品として、Autel の製品および Autel の製品でこの Autel またはその Autel に Autel または Autel の製品があり、Autel から 12 か月以内に Autel が修理することが保証された Autel、Autel の製品により、Autel があれば、Autel を Autel または Autel (Autel または Autel を Autel) し、Autel に Autel する Autel または Autel の Autel を Autel しないことを保証します。

NOTE

Autel が Autel の製品や Autel と修理する Autel は、修理する Autel の製品や Autel に修理してください。

Autel は、デバイスの Autel、Autel、または修理口によって修理する Autel または Autel な Autel については Autel を修理しません。Autel によっては、Autel の Autel の Autel を修理していないため、Autel の Autel が修理されない Autel があります。

この Autel は、Autel の Autel には修理されません。：

- a) Autel な Autel または Autel、Autel、修理した Autel 修理、Autel の Autel、Autel、Autel な Autel または Autel、または Autel な Autel に修理された Autel。
- b) Autel シリアル Autel または Autel シリアル Autel が Autel、Autel、または Autel された Autel。
- c) Autel の Autel または Autel な Autel に修理されたことによる Autel。
- d) Autel が Autel または Autel していないアクセサリ Autel またはその Autel の Autel への Autel または Autel によって修理した Autel。
- e) フレームや Autel などの Autel、Autel、Autel または Autel の Autel。
- f) Autel、修理、Autel、Autel の修理、ヒューズの修理、Autel、または Autel の Autel な Autel などの Autel

□によって□□した□□。

❗ 重要

□□の□□で□□の□□はすべて□□される□□□があります。□□サロビスのために□□を□□する□に、□□の□□のバックアップコピーを□□してください。

ALIT